

超音波治療器は故障中、渦流浴装置は破損状況にある。

#### 救急部門

現存の機材で目につくものは全く無い。散見されるのは酸素吸入装置、手動式蘇生器、鉄製婦人科検診台、診察／処置台程度である。この状態で毎日100人以上の患者にたいする医療活動を行わなければならないのは悲惨ともいえよう。

#### 維持管理部門

施設、設備、機材のいずれにたいしても、維持管理用機材と呼べるものはない。現存の機材とは機種・数量の足りない手工具程度であり、たとえ維持管理技術者に高度な技術が修得されても、維持管理能力は向上しない状況にある。また、メンテナンス部門の施設の半分程度は現在物置というより廃棄物置き場の状況を呈しており、施設の維持管理者は、たとえ手工具でも必要なものがあれば、自らの力で改修を行いたいし、行えば、病院の維持管理能力は大幅に向上させられるとの説明があった。設備用の維持管理機材は全く無く、医療機材の維持管理用機材もテスター1台に機種・数量の足りない手工具程度であった。

なお、当該部門の施設内には義足工房が設けられており、年長の熟練工が1人業務に携わっている。

表 2-4-5-1 主要現存機材の状況

部門名 機材名	使用開始年OR 製造者名 OR 提供者名	状況別数量					合計	故障の内容その他
		A	B	C	D	E		
麻酔科 ホータブル麻酔装置	JAPAN'ONEDA'		1				1	
麻酔装置	JAPAN'OMEDA'		1				1	
麻酔装置	JAPAN'EMO'				1		1	
麻酔装置	AUSTRILIA		1				1	
麻酔装置	JAPAN'KIMATU				1		1	
人口呼吸器	BIRS				1		1	
麻酔装置	OHIO				1		1	
手術室 患者監視装置	US					1	1	
プロコープ	OLYMPUS				1		1	
電気焼灼装置				1			1	
放射線 かん60	SEIMENS			1			1	
X線診断装置 500mA	SIEMENS		1				1	
800mA	SIEMENS				1		1	
CSSD 電気式蒸気滅菌装置	RHEMCO			2	1		3	
蒸気滅菌装置				1			1	
EOG滅菌装置				1			1	
集中治療 患者監視装置	BIRCS	1		1			2	
人工呼吸装置					1		1	
除細動装置			1			3	4	
ホータブルECG			1		3		4	
内科 ECG						2	2	
人口透析装置						1	1	
内視鏡 上部消化管	OLYMPUS		1				1	
内視鏡 大腸鏡	OLYMPUS		1				1	光源が無い
病理検査 冷凍庫(クオーーツ型)						1	1	
低温マイクローム	JAPAN(1986)		1				1	
ロータリーマイクローム	USA(1972)			1			1	
血液保存庫	SANYO &		1	1		1	3	
臨床検査室 血液ガス分析装置(88)	RADIOMETER				1		1	
イオンバナー(1992)	IMPERIAL	1					1	
ライナーキネネット(1992)	S.ARABIA		1				1	
ハト遠心機(1989)	TRIAC		1				1	
分光光度計(1982)	BAUSCH			1			1	
恒温槽(1988)	memmert	1					1	
ELISA SYSTEM	PASTEUR		1				1	試薬不足のため稼働率低い
ロータリーシェーカー VDRU用	SCHUTTLER	1					1	
眼科 スリットランプ	TOPCON/ZAIS	1		1			2	
検眼鏡							1	
眼科手術用顕微鏡				1			1	
救急室 救急車	イヌ				2		2	
ジーブ	日本製エンジン			1			1	
小型ポン				1			1	
小児科 保育器				1	5	2	8	Dの機材は修理部材無し 入手当初から無いもの有

- A: 耐用年数内にて機能良好
- B: 耐用年数内なるもメンテ/オーバーホールの要あり
- C: 耐用年数外なるも機能良好
- D: 機能停止にてメンテ・修理の要あり
- E: 廃棄処分

## 2-4-6 施設・機材の維持管理体制

対象施設に置ける維持管理費用は十分な状況ではなく、施設・設備、機材共に問題を残している。機材に関しては、既にスペアパーツの入手が困難かあるいは修理費用に高額な出費となり新替えを行うには予算が得られない為にそのままになっているケースも多々見受けられた。

しかし、本年発足した新政権は、医療分野においても保健省内の人事の刷新、地方医療の各地方自治体への管理委譲等の新政策にて医療サービスの向上を目指しており、また、当該対策施設をフィリピン南部の医療政策最重要施設としての格付けを強く認識しており、調査団との協議においても、本プロジェクトの維持管理のみならず、施設全体の維持管理及び人員配置に努力を払う事を表明している。

当該施設における現在の維持管理は表2-4-6-1の如き要員構成で行われている。

2-4-6-1 維持管理要員数

TYPE OF JOB	YEAR EDUCATION	1987	1988	1989	1990	1991	1992
	YEAR	1	1	1	1	1	1
管理者	1	1	1	1	1	1	1
電気工	1	1	1	1	1	1	1
電子技術工	1	1	1	1	1	1	1
機械工	2	2	2	2	2	2	2
木工	1	1	1	2	2	2	2
運転手(機械)	3	4	4	5	4	4	5
配管工							

### 施設

施設の維持管理に関しては、それぞれの要員の技術的レベルは現存施設の維持管理にはある程度のものを持っているが、人数的に十分な人員とは言えない。これは予算の関係で、現在のところは我慢をしている状況にある。また、時間的制約を要するあるいは当該施設の要員では技術的制約のある場合は、外注にてそれを補っている。もっとも、現存施設が一度全て整備された状態からの維持管理スタートであれば、施設管理は十分やって行けると推察される。

当該施設の施設管理で欠落しているのは、人的条件のみならず、維持管理機材及び施設である。現在施設管理担当者には必要機材どころか、資材さえなく、適切な作業スペースすら整備されていない状況である。これらの条件が満たされれば、施設面での維持管理は大幅に改善されるものと推察される。

### 機材

機材の維持管理に関しては、これも十分どころか相当に足りない面がある。現在電子技術を修得した職訓卒業生が機材の整備/修理の任にあたっているが、単純機材を除いては外部への修理依頼を余儀なくされている。ただし、当該施設における機材の維持管理は、

当病院内に設けられた機材修理工場（GTZの技術協力によるもの）が全面的バックアップを行う体制となっており、その技術レベルはかなり高く今後の活動に大きな期待がもてる。

当該施設における要員の定着率は他の開発途上国に比してかなり良い。（収集資料1-12参照）これは、私的機関の給料が高いにもかかわらず、公務員としての特権が魅力のあるためとも推察される。また、当該施設の機材管理要員は、彼らなりに努力を行っており、現在も上記機材修理工場での研修に参加して、技術の向上に努めている。

#### 医療機材維持管理センター（HOSPITAL MAINTENANCE WORKSHOP）

ドイツの援助機関であるGTZの協力により92年に活動を開始した病院維持管理工場（医療機材修理工房）は、当該施設の裏側1階部分（正面からみると地下部分）に設立されている。

ここでは技術指導者並びに業務遂行の援助がなされており、この機械の統括は、保健省のHOSPITAL MAINTENANCE SERVICE部門が直接行っている。当WORKSHOPのサービスエリアは①西部ビサヤ地方、②中部ビサヤ地方、③東部ビサヤ地方をカバーして行われており、現在12人の技術者が業務にあたっている。その技術力はかなり高く、簡易超音波装置、単純X線診断装置、単純心電計程度であれば、場合によっては回路図がなくても修理の技術があると推察できる。

現地調査での作業の状況を見ると、機材の回路さえ入手されていれば、相当程度の修理能力はあるものと判断された。技術者は、当施設にて修理業務を行うのみでなく、必要に応じて各病院にも出張修理サービスを行っている。

GTZの援助計画は、今後3年間継続され、その後は保健省の管轄の元、VSMCの管理下におかれるととなっており、右計画にて蓄積される技術および組織は、当該計画施設に大きな影響をあたえ、医療機材の維持管理能力を大幅に向上させることが期待される。

## 第3章 要請の経緯・内容と協議の内容

### 3-1 要請の経緯と内容

#### 3-1-1 要請の経緯

フィリピンは、アジア大陸の東南、マレー諸島の東北部に南北 1,851kmにわたって散在する7,109の島々からなっている。総面積は日本の本州と北海道を合わせた大きさに相当し、ルソン、ミンダナオ、ミンドロ、サマール、レイテ、セブなどの11の大きな島が総面積の96%を占めている。フィリピン列島は環太平洋火山帯に属しているため、活火山が点在し、昨年発生したピナツボ火山の噴火災害は今日までその傷跡を残し、今後のフィリピンの発展に大きな問題を投げかけている。

「フ」国の保健医療事情は、平均余命が64歳、乳児死亡率が 44/1000人と東南アジアの中では比較的良好な状況を示しているはいるが、先進工業地域の事情とは大きくかけ離れ、開発途上国の域からは脱していない。一方医療サービス機関の内私的機関は富裕患者を対象とした有料診療が主体であり、貧困患者を対象とした医療サービスは公的機関による無料診療によって支えられている。しかし、「フ」国の長年に渡る経済不況のため、一部有料化を行ってはいるが、施設や設備の整備に遅れが目立ち、適切な医療サービスの提供が困難な状況にある。

要請対象の「ビセンテ・ソット記念医療センター」は1913年に設立され、現在はセブ島及びミンダナオ島の北部及び西部地域の第三次医療機関としての役割と、医療従事者の教育及び訓練機能を有し、フィリピン国南部の医療活動の要としての役割を担っている。

しかし、この様に同センターが「フ」国の保健医療サービス分野での重大な役割を有するにも関わらず、厳しい財政事情により医療機材及び施設の整備は立ち遅れており、同病院の医療機材及び施設は老朽化し、かつ増大する患者の需要を満たすには不十分な状況となっている。

かかる状況を受けて、「フ」国政府は同病院の施設の拡充及び医療機材の整備にかかる計画を策定し、我国政府に対して無償資金協力を要請越したものである。

#### 3-1-2 要請の内容

現地調査を行うにあたり、調査団は現地調査前に「フ」国側から第1次要請書と第2次要請書を受領した。また、現地にて第3次要請書を大使館を通じて受領した。本調査団は右要請書を現地にて「ネ」側に提示し、協議の結果要請の内容は下記の通りである事を確認した。

施設

現地調査時に「ネ」側との協議の結果、正式な要請は第3次のものである事を確認、これを基に調査協議を行った結果、要請項目の詳細は下記の通りである事を確認した。施設

拡充の要請内容は外来棟の建設及び既存施設の一部の改修である。(添付資料Ⅶ参照)

施設建設：外来棟 地上3階建て 延べ床面積：2,520㎡ 渡り廊下36㎡

1階：受付 待合室 小児科 総合診察科 産婦人科 内科 整形外科 外科処置室 トイレ

2階：待合室 臨床検査室 X線診断室 心電図室 脳波検査室 内視鏡室 皮膚科 歯科 眼科・耳鼻咽喉科 超音波診断室 気管支鏡室 トイレ

3階：待合室 リハビリ科 針治療室 会議室 医師室 看護婦室 トイレ

付帯設備：エレベーター

施設改修：(1)放射線部門 (2)救急部門 (3)薬剤部門

#### 機材

「フ」国の要請する機材は、各部門毎にリストアップされ、優先順位をつけて調査団に提出された。優先順位はA（優先度1）、B（優先度2）、C（優先度3）の3段階に分類されて記載されている。以下に各部門毎の主要要請機材を示す。なお、詳細は添付資料Ⅲに記載されている。

外科部門 : 手術灯、吸引器、焼灼器、蒸気滅菌装置、治療器具等31点

手術室 一般外科：手術灯、麻酔装置、ICUベッド、手術器具等26点

手術室 神経外科：手術用顕微鏡及び頭蓋用手術器具

手術室 眼科 : 硝子体手術装置、気管支鏡、眼科手術用器具等17点

手術室 麻酔科 : オキ・メーター等4点

手術室 その他 : カテーテル等7点

神経外科 : CTスキャナー、筋電計、頭部用超音波診断装置、定位脳手術装置等11点

整形外科 : 関節鏡、コンピューター、喉頭鏡等23点

内科 : 心電計、脳波計、心臓用超音波診断装置等18点

糖尿病診療部門 : 診察台、グルコメーター等15点

小児科部門 : 心電計、コンピューター、診察器具等21点

ファミリーデスク部門 : コンピューター、聴診器等7点

皮膚科部門 : 顕微鏡、紫外線照射装置等11点

放射線診断科 : 一般X線診断装置、透視装置、移動式X線装置、自動現像装置、CTスキャナー、等12点

超音波診断部門 : 超音波診断装置、コンピューター等6点

放射線治療部門 : X線表在治療装置、線量計及び位置決め装置

BCG室 : 1チャンネル心電計、3チャンネル心電計等6点

BEG室 : 18チャンネル脳波計等7点

内視鏡室 : 上部消化管用内視鏡、直腸内視鏡、内視鏡用ビデオシステム、

	大腸内視鏡等23点
耳鼻咽喉科部門	:耳鼻咽喉科手術用顕微鏡、喉頭鏡等18点
眼科部門	:手術用顕微鏡、眼科用超音波診断装置、眼底カメラ、スリットランプ等14点
検査室部門	:自動包埋装置、オート・ディスペンサー、分光光度計、自動化学分析装置、血球カウンター電気泳動装置、超低温庫、低温遠心器、血液ガス分析装置、炎光光度計等35点
神経病科部門	:検診灯、診察器具等9点
喉頭鏡室	:検鏡台等11点
歯科部門	:歯科ユニット、歯科用X線装置、パノラミックX線装置、ラボ用機器等21点
リハビリテーション科	:水治療室:2連浴槽、気泡浴装置、低周波治療装置、マイクロ波治療装置、パラフィン浴治療器等53点
救急外来	:除細動装置、ECG、オートクレーブ、喉頭鏡、麻酔装置、人工呼吸器等21点
産婦人科	:婦人科検診台、胎児心拍検出器、膣鏡、低温手術器等15点
精神科	:電気痙攣治療器等3点
研修・研究部門	:OHP、プロジェクター、コピー機等10点
看護部門	:吸引器、人工呼吸器、保育器、患者監視装置等17点

### 3-2 協議の内容

当該計画に関し、関係機関と協議の結果、保健省ナナガス次官、デリキト当該病院院長及び山田団長（国立病院医療センター国際医療協力部）との間で12月15日協議議事録に署名した。

右議事録の概要は以下の通り。

#### 3-2-1 計画の目的

本計画の目的は、診察及び研修のために必要な施設の拡充・改修及び機材の調達を通じてビセンテ・ソット記念医療センターの外來部門の医療サービスを向上させる事である。

#### 3-2-2 計画地

当該計画に必要な敷地は、当該計画病院のメインビルの前の敷地とする。

#### 3-2-3 実施機関

当該計画の実施機関はビセンテ・ソット記念医療センターである。

#### 3-2-4 「フ」国側の要請内容

フィリピン国側からの要請内容は下記の通りである。

- 1) 外来棟の建設
  - (1) 内科部門
  - (2) 眼科・耳鼻咽喉科部門
  - (3) 外科部門
  - (4) ファミリーメディスン部門
  - (5) リハビリ部門
  - (6) 小児科部門
  - (7) 整形外科部門
  - (8) 精神科部門
  - (9) 検査部門
  - (10) 歯科部門

- 2) 既存施設の改修
  - (1) 放射線部門
  - (2) 救急部門
  - (3) 薬剤部門

3) 機材の調達

A. B. C. の優先順位をつけて機材リストをアネックスIVとして添付。

3-2-5 日本の無償資金協力制度

- 1) 「フ」側は、日本側の説明した無償資金協力のしくみを理解した。
- 2) 「フ」側は、日本の無償資金協力が実施された場合、本計画の円滑な推進のために以下の必要な措置をとる。
  - (1) 市水道を現場に供給
  - (2) 市排水を現場に供給
  - (3) 市ガスを現場に供給

3-2-6 協力の範囲

事前調査の結果、本計画が実行可能であると判断されたなら、JICAは基本設計調査団を派遣する。日本の無償資金協力による協力の範囲は、この調査団の調査結果により、明確となる。

3-2-7 基本設計調査

基本設計調査の業務範囲は下記の通り。

- 1) 技術的調査
- 2) 運営・維持管理及び予算の調査
- 3) 施設及び機材の基本設計
- 4) 施工計画の作成



5) 計画の評価

3-2-8 他の関連事項

- 1) 保健省は当該病院の持続的かつ適切な運営及び維持管理を確実にするために、本計画に必要な予算を配分する。
- 2) 保健省は当該病院の通常の運営のために本計画に必要な人員を配置する。
- 3) ビセンテ・ソット記念医療センターは本計画に含まれる主要機材の台帳を作成し、施設・機材の活動状況につき統計をとる。右統計は日本側に毎年提出される。

## 第4章 計画の概要

### 4-1 計画の目的

本計画は、7千余の島々から成る「フ」国のほぼ中央部分に位置し、首都マニラに次ぐ第二の都市としてのセブ市にある「ビセンテ・ソット記念医療センター」の外来部門を主体とする施設の拡充・改修及び機材の調達を通じて「フ」国全人口の約20%以上が居住するビサヤ地区の第三次医療サービス及び医療従事者の研修・教育活動の向上を目的とする。

### 4-2 拡充計画

#### 4-2-1 計画の内容

本計画は「フ」国の第二の都市セブ市にある「ビセンテ・ソット記念医療センター」を対象とし、施設の拡充・改修及び機材の調達をその内容とする。

#### 4-2-2 施設・設備計画

本施設の増築計画部分は、現行活動には影響を及ぼさないが、現存施設との接続部分の改修及び救急部門・X線診断部門の改修は診療活動を継続しながらの建設活動を行うこととなるため、増築部分の完了後に改築計画を行うこととし、期分け工事の必要が無いようにする。本計画において拡充される施設には、次の部門を設置する。

外来棟の建設：受付 待合い、外科 小手術室 整形外科 患者記録室 総合診察科 内科  
婦人科 小児科 処置室 内視鏡室 糖尿病診察室 気管支鏡室 心電図室  
脳波検査室 耳鼻咽喉科 眼科 歯科診察室 歯科技工室 神経科  
臨床検査室 病理検査室 針治療室 リハビリ・訓練室 リハビリ・治療室  
皮膚科 会議室 医師室 看護婦室 トイレ

施設改修については次の施設を改修する。

救急部門：救急処置室、婦人科室、小児科室(観察室)、緊急手術室、男性/女性治療室  
の現存の形のままで補修

薬剤部門：薬局、倉庫の現存のままで補修および新OPD棟との兼ね合いによりアクセス  
部分の改修

X線診断部門：X線装置室は現存の形のままで補修及び防護措置

CT装置室 超音波装置室は、現在他の目的に用いられている部屋の利用の  
ため、当該目的に必要な仕様の部屋に改修

基幹設備については次の設備を整備する。

(1) 給水設備：新OPDに必要とする水量の高架水槽

(2) 排水設備：医療廃棄物処理を考慮した、新OPDに必要とする排水設備

- (3) 電気設備：新OPDに必要とする電気量の自家発電設備
- (4) 空調設備：新OPD及び改修部分に必要な空調設備
- (5) 通信設備：新OPDに必要な電話設備

その他として下記の設備を新設／整備する。

- (1) 廃棄物置き場の整備
- (2) 医療廃棄物等の焼却設備

#### 4-2-3 機材計画

「フ」国の要請機材は、現在の施設の延長点での検討のみがなされたものであり、それぞれの部門毎のシステム及び全体のシステム計画がきちんとなされた結果ではない。この為、基本設計調査段階では、「フ」国側への右各システム計画の指導を考慮した計画・調査と「フ」側との協議を進めるべきであり、「フ」側も右協議方針を望むものと判断される。

各部門における機材計画は、下記の共通事項を満足させた上で、各部門の目的、機材の必要度、使用現状、将来計画等を十分考慮した上で計画がなされるものとする。

- 1) 医療レベルの向上及び保持、リフェラル病院、研修・教育病院としての機能を考慮する。
- 2) 外来機能のみならず、外来患者診断後の治療サービスの向上も考慮する。
- 3) 院内感染あるいは(医療廃棄物等による)院外感染の危険性の排除を考慮する。
- 4) 計画対象施設の医療レベルを十分理解し、現在のレベル以上の医療活動を目的とする機材計画を含まない。
- 5) 計画対象施設の全体システム及び各部門に於ける医療システムの確立を考慮する。
- 6) 計画対象施設における維持管理能力特に技術的レベルを十分理解し、かつ維持管理費の確保及び維持管理要員の確保を確認する。
- 7) 既存施設よりの移設機材計画は、本計画完了時の機齢あるいは耐用年数等を考慮し、かつ、経済交換時期をも十分考慮する。

また、継続使用機材に関しては、スペアパーツ、消耗品等も考慮する。

#### 外科部門

要請機材の多くが器材、道具類であるが、現在の機能を十分調査の上、過不足のある場合は本計画の目的を全うさせるべき計画を機材計画を行う必要がある。ただし、「フ」国側の自助努力部分も十分調査し、先方との協議に望む事。ただし、眼科の硝子体手術装置に関しては、対象施設の医師の右装置に対する技術の確立がなされているか否かの確認を行う必要がある。

#### 整形外科部門

要請機材には特に問題はないが、現在の活動状況を詳細に調査し、機材の過不足を調整する。

## 神経外科部門

当該部門から要請の出ているCTは放射線診断部門での共用機材として計画されるものとし、当該部門から外す事とする。また、筋電計に関しては、基本的にシールド・ルームを必要とする事を念頭におき、右機材の必要性及び効果性の確認を行う必要がある。

頭部用超音波診断装置及び定位脳手術装置に関しては、当該部門での技術的受け入れ能力があるか否かの確認を必要とする。

## 内科部門

ほとんどの要請機材には特に問題はないが、現在の活動状況を詳細に調査し、機材の過不足を調整する。ただし、心臓用超音波診断装置に関しては、当該部門に画像診断能力の可否を確認する必要がある。

## 糖尿病診療・小児科・ファミリーメディスン・皮膚科部門

要請機材には特に問題はないが、現在の活動状況を詳細に調査し、機材の過不足を調整する。

## 放射線診断部門

現存のX線診断機材がすでに機齢を過ぎており、本計画完了時の機材の状況を把握した上で機材計画を行う必要がある。また、放射線防護の点については十分調査・計画の事。

要請機材にX線CTが含まれているが、頭部CTに関しては、神経外科が画像診断能力を有しており、使用技術的レベルに問題はないと判断される。また、身体部CTの画像診断能力は当該施設ではまだ獲得されてはいない。しかし、本計画の目的及び「フ」国国内での研修の可能性がある点並びに「フ」側が右研修計画を有している点から、全身用CTの導入に問題はないものと判断される。ただし、運用及び維持管理費用の確保が確実に「フ」国側でなされるか否かの確認が必須条件ではあるが、右機器の運用時間と消耗機材（特にX線管球）の耐用時間を調査の上、機材計画にて消耗機材の含有にて対応できるか否かの検討を行うことも必要と思量する。

移動式X線装置に関しては、各必要部門との共用を計画するよう十分調査の必要あり。

## 放射線治療部門

要請機材には特に問題はないが、現在の活動状況を詳細に調査し、機材の過不足を調整する。なお、治療計画装置（位置決め装置）に関しては、現在コバルト60照射装置にて治療を行い得る医師が1名のみであり、既にこの医師が高齢と成りつつある状況のところから、右装置による治療行為可能な人材確保の確認と、治療計画装置導入による要員確保の確認が重要。

他に、照射室と操作室との間には窓もなくインターフォンと固定式TVモニターのみで監視を行っている点に若干不安がある点を考慮しておく必要がある。

#### 超音波診断部門

超音波診断は、非侵襲性であり、操作も比較的簡単であるため、当該施設に於ける機材計画の中では重点をおいて計画を進めるべきと判断される。ただし、各部門での計画要求があり、この点を十分調査し、出来る限り共用機材としての運用計画を策定すべく、「フ」側との協議及び指導を行う必要がある。ただし、当該装置の計画にあたっては、現地での製造者の維持管理能力有無、すなわち、製造者の支店・代理店の有無とそのサービス能力の確認が必須である。

#### ECG室・BBG室・内視鏡室

要請機材には特に問題はないが、現在の活動状況を詳細に調査し、機材の過不足を調整する。特にECGについては、各部門での必要性があるところから、出来る限り共用性を求めながらも、患者管理上専用性の必要ある部門の確認も重要である。

なお、要請の各種内視鏡に関しては、診断／治療者の技術的レベルの確認を要す。

#### 眼科・耳鼻咽喉科部門

当該部門における活動状況が、本調査においては明確に把握し得なかった経緯があり、基本設計調査において右活動状況を詳細に調査した上で、機材計画を行う必要がある。基本的に要請機材には特に問題はないが、眼科用超音波診断装置に関しては、画像診断技術の確認及び必要性の確認を行う必要があるものと判断される。

手術用顕微鏡に関しては、各部門からの要請が出ており、重複しないよう、かつ当該施設の規模等を十分考慮して計画すること。

#### 検査部門

要請の自動包埋装置、血球カウンター、オート・ディスペンサー、自動化学分析装置、血液分析装置等に関しては、当該部門での取扱い検体数の確認及び試薬／消耗品等の経済分岐点を確認して計画を行う必要がある。

電気泳動装置、超低温庫、低温遠心器等に関しては必要性の確認を必要とする。

特に自動分析装置及び血液ガス分析装置は現在の当該施設においては必要性は認められないものと推察される。

#### 神経科・気管支鏡室・産婦人科部門

要請機材には特に問題はないが、現在の活動状況を詳細に調査し、機材の過不足を調整する。

#### 歯科部門

当該部門には現在X線診断装置が導入されておらず、右X線装置の計画は必須と判断する。ただし、現状の活動内容からパノラミックは必要の無いものと推察されるが、本調査においては明確に把握し得なかった経緯があり、基本設計調査において右活動状況を詳細に調査した上で、機材計画を行う必要がある。また、当該部門においては、歯科技工も外

注はせずに院内で行っており、これらも機材の計画も必要なものと判断される。

#### リハビリテーション部門

当該部門は1991年より開設された部門であり、現存機材は全く無い状況のところから、新しく診断・治療システムを計画し、その内容によって機材計画を行う必要があるが、本調査においては明確に把握し得なかった経緯があり、基本設計調査において右活動状況を詳細に調査した上で、機材計画を行う必要がある。要請機材の中には特に技術的問題等は見いだされない。なお、当該計画策定に大きく関与していた前大臣ペリケット氏がリハビリ部門の出身者である点が反映してか、他の部門に比して広いスペースと多数の機材計画がなされている点に留意する必要がある。

#### 救急室

当該部門には、酸素吸入装置及び手動式蘇生装置が散見されるのみで、救急医療に必要な機材は全く無い状況のところから、新しく診断・治療システムを計画し、その内容によって機材計画を行う必要がある。状況は上記リハビリ部門と同様。

#### 精神科部門

当該部門は近年富みに増加している外来患者を診断・治療しているが、殆ど機材らしきものを有してはいない。要請の機材はコンピューターを除いて必要な機材と判断される。

#### 研修・教育・看護部門

要請機材には特に問題はないが、現在の活動状況を詳細に調査し、機材の過不足を調整する。なお、当該計画対象施設が医療教育・研修機能を有している点に留意する必要がある。

#### 維持管理部門

要請書には含まれていないが、本計画の実施後の維持管理を考慮し、施設・設備・医療機材の維持管理用機材を慎重に計画する必要がある。機材は木工、鉄工、左官、板金、塗装、配管、配線、電気修理、電子回路修理等幅広い分野の機材を計画しなければならないが、基本的には手工具および、小機器（電動工具の類）を主体とする計画とする。

#### 共通事項

各部門からコンピューターの要請があがっている。当該施設に於ける要員不足の解消、患者管理の強化、統計管理の強化、会計管理の強化等様々の必要性があることは認められるが、本調査においては明確に把握し得なかった経緯があり、基本設計調査において右活動状況を詳細に調査した上で、機材計画を行う必要がある。

### 4-3 「フ」側実施体制

#### 4-3-1 実施体制

本計画の実施機関はビセンテ・ソット記念医療センターである事が確認された。

#### 4-3-2 人員配置計画

本計画実施時の人員配置計画については、保健省との協議の結果、「フ」側が必要な人員を配置する旨が議事録に表記された。

#### 4-3-3 予算措置

本計画実施にかかる予算措置についても、上記人員配置計画と同様の状況にある。

また、保健省との協議において「フ」側は、今日まで行われている、医療機関の収支の全てを政府管理としていたものを、患者に直接関与する直接の医療費等を除く他の収入を医療機関の裁量に委ねるいわゆるインカム・ジェネレーション方式の導入に努力する旨の発言をしており、右方式による維持管理費の確保も将来的に可能性はあるものと推察される。

#### 4-4 技術協力

各科から要請されている機材リストを見ると、全体的には現状の専門医の技術レベルからかけ離れて高度な医療レベルのものは含まれてはいない。要請機材の中で最も高度なCTスキャンは放射線部門では現在これを取り扱った医師・技師はいないが、すでに近隣病院でのCT診断は行われており、また、「フ」国内に研修生の受け入れ機関はある点から、CTスキャナーの扱いに技術協力の必要性はないと判断される。

しかし、当該施設での全般的な医療機器使用の技術レベルを調査すると、コンサルタント医あるいは設備の整った医療機関で免許をとった専門医を除く医療従事者、例えば医学部を卒業して後にVSMCにてトレーニングを受けて免許を得た医師等は医療機器使用の技術レベルは低いと判断され、当該計画にて設備される機材の使用に際して、マニュアル通りの使用説明のみで実際の患者診療に望むことは極めて危険な状況となり、現場でsupervisorを受けながら経験を積む必要があるものと判断される。また、当該計画に含まれる要請機材には数人のコンサルタント医のみが使用技術を持つものもあり、右機材が少数の医師のステータスを守るために使われること無く、広く、正しく、診療と教育に用いられるためには、人材養成が極めて重要なポイントとなる。

右を十分考慮・調査の上、我国からの技術協力（巡回指導、短期専門家派遣あるいはJOCV派遣等）の必要性、妥当性を基本設計調査時に見きわめるべきであろう。

## 第5章 結論と提言

### 5-1 結論

1950年代の「フ」国は明るい将来を持ったアジアの優良国の一つであったが、経済の不適切な運営により、今や東南アジアの他の国よりも遅れている。経済の低迷と政治の混乱は、保健医療分野のサービスの低下に直結し、その影響をもっとも深刻に受けるのは弱者である乳幼児である。1960年のタイとフィリピンの5歳未満児死亡率は各々149および134であったが、1990年のそれは34に対し69である。一部の富裕層に対しては先進国並の医療を提供し得る「フ」国の中で、貧しい人々に対する医療だけが立ち遅れている現在の状況は本調査でも十分に理解された。

本計画対象施設であるVSMCは全体として乏しい施設ながらも第三次病院として多くの貧困者の診療にあたっている。また近隣の私立病院から送られてくる支払能力の無い患者の受け入れ、他島からのリフェラル患者の受け入れ等とそれらの患者に満足のいく医療サービスを提供することを目的とする本計画は充分妥当なものと判断される。

特にVSMCはセブ州最大規模の教育病院であり、年間2万人を越える医療従事者の教育・研修・実習の場となっており、途上国の自立発展において人材を育成することは極めて重要である点を鑑み、本計画の実施は患者のニーズに応えるのみではなく、現場で診療にあたる医師、研修を受ける若い医療者達にもたらす利益は極めておおいものと判断される。

本計画の内容は外来棟拡充計画とされているが、単に外来部門のみの整備では本計画の目的を達成し得ず、真に患者に益する病院機能を得るためには外来と病院全体の機能は切り放して考えるべきではない。このため、外来棟の建設に加え、①外来と入院患者の両方が利用する放射線診断部や薬剤部を少ない人員でも双方の患者に能率的に稼働できるよう既存施設の一部改修を行うこと、②新しいOPDに包含される各検査室を外来患者のみへの機能ではなく、救急患者・入院患者にたいして24時間使用可能な位置づけとすること、③外来と並行して救急外来あるいは一般外来からの救急手術をふくめた第三次病院としての機能を保持させるための手術室の機材整備あるいは維持管理部門のレベル向上を図る機材整備を行うことは、本計画に必要なものと判断する。

#### 5-1-1 計画の必要性及び妥当性

##### 必要性

本計画は、「フ」国の長年に亘る経済不況が医療施設・設備の整備に重大な後れをもたらし、国民の適切な医療サービスの提供が困難となっている状況において、首都マニラに次ぐ第二の都市にあり「フ」国南部の医療活動の要となっている「ビセンテ・ソット記念医療センター」の機能の改善を図ることは意義のあることであり、必要性があるものと判



断する。

#### 妥当性

計画された外来棟の拡充は、現在アクセスの悪い、混雑した状況にある外来棟が必要な外来部門をすべて包含して居らず、当該計画施設の負わされている診療機能及び計画機能を全うされ得ない状況を解決するに必要かつ十分なものであり、妥当性のあるものと判断される。

#### 効果

本計画の実施による効果は、当該計画施設のサービスエリアに在住する約1,300万人の住民に対する高度医療サービス及びこれに従事する医療従事者の教育・研修に大きく裨益するものと判断される。

#### 計画の範囲

計画の範囲は約 3,000㎡の外来棟の建設及びこれに関連する既存施設の改修ならびに医療機材の供与を計画の範囲とする。

### 5-2 提言

当該施設VSMHCは保健省直轄の医療機関であるが、予算とマンパワーの決定は保健省自身の裁量となるため、本計画実施においては保健省の意志を常に確認する事が重要である。

要請機材の中で、現状の技術レベルやニーズから不当に外れているものは特に無いが、運営維持の点で財政的に大きく影響をあたえるCTスキャナー等は、ニーズと技術に問題がないとしても経済的背景を充分考慮しなければ、結局彼ら自身の首を締める事となる。すなわち、限られた保健省予算の配分が「フ」国民全体に正当に行われるための配慮も無償資金協力計画では忘れてはならない。

#### 5-2-1 基本設計における現地調査

- 1) 現在「フ」国の政策が新政権によって策定の途にあり、特に各機関の組織、予算措置、法制等に変化が生じる可能性が大きいため、相手側より提出される資料収集あるいは情報の収集にあたっては、特に注意を払う必要がある。
- 2) 計画対象施設における医療従事者はすべてが常勤者ではなく、かなりの数の非常勤者及び無料奉仕者が含まれているため、従事者の実勤務時間が本調査では正確に掴み得なかった事を報告すると共に、基本設計調査においては右を補強されるよう提言する。
- 3) 計画対象施設におけるマスタープランは、本調査団の現地調査時においては、右施設独自に計画を持ってはいたが、右計画は現存施設および過去の「フ」国の予算措置に見合わせた計画であり、本計画が実施されるにあたり、新マスタープランの策定が必要とされよう。

しかし、右対象施設の計画策定能力はさほど高くないように推察される所、基本設計調

査において出来得れば、右計画の策定に本計画の内容を盛り込んで、指導をいれる事が望ましいと推察する。右指導は、本計画実施後の効果の増大にもつながる所から、ぜひ検討されたい。

- 4) 「フ」国側は、本計画の案件名が「外来棟の拡充」と有るところから、入院棟部門及びその他の部門を計画対象外と理解し、外来棟のみの問題解決に気を取られている様に推察される。しかし、本計画による効果は、外来棟の拡充によってのみでは成し得ない。すなわち、レベルアップされる外来棟に準じて受け皿的役割をもつ病棟あるいは他の部門がある程度機能しなければ、本計画の目的を全うし得ない事を理解する必要がある。右状況から、基本設計にては、本調査団が時間的制約によって成し得なかった外来部門以外の部門の調査及び本計画に包含する必要性及び妥当性の検討を今一度詳細に行う必要があるものと判断する。
- 5) 「フ」側は、我国の援助にのみ頼ろうとはせず、自助努力にて本計画に係わらない部分の施設の改修及び人材の確保に努力する積極的な姿勢を見せている。しかし、その手配には約2年の期間を必要とする。この為、基本設計調査においては、本計画に係る維持管理費および必要人材の見積を出来る限り積算し、「フ」側特にDOHに提示する必要がある。右問題はDOHとの協議にても取り上げられ、「フ」側は日本側からの右に関するアドバイスを早急に必要とする旨の表明を受けた。(特にCTスキャナーについては、「フ」国側は具体的な数字を知る必要がある。)
- 6) 新OPDのスペースや供与機材は、単に患者の診療を目的とせず、研修生への教育・研修の場としての目的を十分に配慮の事。

#### 5-2-2 施設・設備計画

##### 1. 施設

- 1-1) 外来棟の配置計画にあたっては、当該施設の大きな医療活動の一つとなっている救急部門の活動効果が新OPDによって阻害されないよう計画の事。特に救急車両の右部門への進入経路を充分計画し、新OPDの機能と協調できるよう充分配慮の事。
- 1-2) 外来棟の配置計画にあたっては、当該施設の正面南東側にあるCHILDRENS' SURVIVAL CENTERのアクセス及び新OPDとの連携機能を充分配慮の事。
- 1-3) 施設は、機能によって決定され、かつ現存施設との調和および現地の風俗・習慣等を充分考慮して行う事。また、本計画が記念事業ではなく、「フ」国民への医療サービスの向上を目的とした基本を常に条件とした計画を行う事。華美な、高機能な施設としない事。
- 1-4) 計画施設(新OPD)が外来部門のみの拡充のみにとどまらず、入院患者への裨益が無視されれば、本来の目的である医療サービスレベルが充分確立されない事を理解し、外部からのアクセスのみならず、入院棟とのアクセスを充分考慮の事。

- 1-5) 現存施設の改修部分は、計画施設とのアクセス計画によって生じる部分及び、当該施設においてもっとも活動効果の高い救急部門を含む外来／入院部門の共通部門でもっとも活動性の高い薬剤部門、X線診断部門に限定して計画の事。
- 1-6) 建築基準に関しては、「フ」国及び日本の基準を検討の上、双方の最適点を見いだしたうえで計画を行う事。
- 1-7) 当該計画対象施設の敷地が、不法占拠あるいは他の政府機関の利用等の状況から、事前調査時には正確な面積が調査し得なかった。この為、基本設計調査においては、右正確な敷地面積を確認する事。

## 2. 設備

- 2-1) 基幹設備の計画に関しては、現存施設の機能の確認と、計画施設の設備との接続の問題が無いよう計画の事。当該施設は現存の基幹設備に問題のある事を充分認識しており、施設のマスタープランの中でそれぞれの解決計画を策定している。しかし、「フ」国の財政状況から推察すると、完了の可能性は低いものと判断され、本計画を含め、疎漏の無いよう充分な調査と計画が必要である。特に排水処理には充分考慮の事。
- 2-2) 廃棄物処理設備に関しては、一般廃棄物及び医療廃棄物の現在のシステムを認識の上、当該施設から本計画実施後に公害問題等の起こらないよう計画の事。  
また、放射性廃棄物の処理システムを充分調査し、本計画に係る機材による放射性公害問題の起こらないような措置を確認の事。

### 5-2-3 機材計画

- 1) 基本設計および実施設計にあたっては、通常、計画に施設の設計が含まれる場合には、建築コンサルタントが主体となり、機材計画が補強的格付けにて扱われるケースが多いが、建築コンサルが主体の場合は施設・設備計画を重要視し、多分に機材計画を圧縮させる場合が見受けられる。  
しかし、医療案件は特にソフトを基本に計画されなければならないことは全人の知るところであり、この為、機材計画は施設・設備計画に同調させる必要はあっても、施設・設備計画に左右されるべきではない。右状況から、機材計画の取扱いが十分考慮されるよう注意を払う必要があると思量する。
- 2) 機材の運用費（オペレーショナル・コスト）の確保は、援助計画には欠かせない条件であり、本計画においても、基本設計調査時に運用費の積算を行い、「フ」側がこの費用の確保を可能とする機材のみを計画に含めるよう調査を行う必要がある。
- 3) 本件に係わらず、機材の維持管理は、計画対象施設の技術的・経済的能力の低さが常に問題となるが、本計画に付いては、フィリピン国民の技術修得能力が他の被援助国の状況に比してかなり高い状況にある事を認識し、日本側も確とした本計画に係る機材の取

扱い及び維持管理技術の移転計画を策定し、その実施を完了させべきと思量する。右技術移転計画にあたっては、下記の如き点に留意する必要がある。

- ① 技術移転に必要な資料（カタログ、マニュアル、回路図、関連資料等）を出来るだけ早い時点で技術移転対象者に手渡し、予習時間を確保する事。
  - ② 技術移転予定者の経歴を認識し、右に適した研修カリキュラムを策定・実行する事。
  - ③ 技術移転予定者は出来る限り多い方が良く、「フ」側に事前に人選をするよう指導し、また、リクルートの必要ある場合は、計画対象施設側のみでなく、保健省側にも出来る限りは早い時点で右報告を行う必要があるものと判断する。
- 4) 機材の調達計画にあたっては、出来る限り現地調達にてこれを行い、低原価製品の選択と低原価効果を利用した十分数量の確保、低維持管理の確立、同一機種補充の安易性等を得るよう留意する事。
  - 5) 現地調達の可能でない機材の調達にあたっては、出来る限り現地に代理店のある製造者を選択することに留意する事。
  - 6) 機材の調達にあたっては、あらかじめ近隣の医療機関の使用している機材の調達状況及び維持管理状況を調査し、現地における維持管理が良く行い得る製造者の機材を選定する事に留意の事。
  - 7) 医療廃棄物の処理に必要な機材を計画する事。
  - 8) 機材計画にあたっては、要員確保の確認及び具体的な操作トレーニング及び維持管理トレーニングのプログラムを策定し、「フ」国側に徹底させる事。
  - 9) 機材計画にあたっては、外来機能の向上のみならず、入院機能をも考慮し、出来る限り共通使用が可能な計画とする。

## 添 付 資 料



## 一 般 事 情

### 添付資料-I

フィリピンは、アジア大陸の東南、マレー諸島の東北部に南北 1,851kmにわたって散在する7,109の島々からなっている。総面積は日本の本州と北海道を合わせた大きさに相当し、ルソン、ミンダナオ、ミンドロ、サマール、レイテ、セブなどの11の大きな島が総面積の96%を占めている。フィリピン列島は環太平洋火山帯に属しているため、活火山が点在し、昨年発生したピナツボ火山の噴火災害は今日までその傷跡を残し、今後のフィリピンの発展に大きな問題を投げかけている。

気候は高温多湿で、年間を通じて気温の変化はあまりない。しかし、4～5月は比較的高く、学校などでは夏期休暇となる。雨季と乾季があり、雨季にはスコール性の雨が降る。またビサヤビュールや、ルソン地方は台風の通り道となっている。

フィリピン人の祖先とされるマレー系民族は、紀元前3世紀頃に渡来したと言われているが、統一的な統治は実現しないまま、16世紀にスペインの統治下に入った。「フィリピン」という国名は、セブ島に上陸したマゼラン一行が、当時のスペイン王位継承者フィリップス2世にちなんで命名したものである。その後1898年にアギナルドを指導者とする反乱軍が独立を宣言。アギナルド政府はキューバでの米西戦争発生に伴いアメリカ軍の協力を得てスペイン軍を一掃した。この結果、同国は今度はアメリカの統治下におかれ、第2次大戦中の日本軍による占領を経て、1946年フィリピン共和国として独立を達成した。

独立後のフィリピンは、アメリカ型大統領制の下に運営されてきたが、1972年マルコス大統領は戒厳令を発動、行政権、立法権、一部司法権を掌中にした。以来旧社会の悪弊を除き、経済・社会開発の推進をめざす「新社会」の建設を目指した。しかし20年余に及ぶマルコス政権の独裁的強権政治に対し内外からの批判がわき起こり、ついに1986年2月の大統領選挙でマルコス派の不正に対する国民大衆の非難が爆発、マルコス大統領は国外に亡命、アキノ大統領が就任し、内政の一新にのりだした。

「フィ」国は、対米友好関係を基軸とした外交を進めているが、近年、ASBAN諸国との地域協力を積極的に推進しており、日本との友好関係維持をも含めた多様化した外交を目指している。

産業は、依然として農業が中心で、国内総生産の1/3を占めている。主要産品は、砂糖、銅、ココナツ油、木材、コブラなどの第一次産品である。銅、金、銀、ニッケルなどの資源も豊富で、大規模なニッケル開発事業は注目を集めている。この他観光も重要な産業となっている。

フィリピン人は一般に親切で、恩や義理を重んじ、社交を大切にす。フィリピン文化は、

その歴史を反映したいわばマラヤ、スペイン、アメリカ文化の混合とも言うべきものであるが、最近では民族的独自性が生まれつつある。国民の約80%がカトリック教徒で、これに関連した祭典行事も盛大に行われている。反面、一般国民は貧しく、職を求めて都市部に流入する者が多い。イスラム教徒の問題も大きな課題である。

日本との関係は、1976年に日比賠償が終了し、両国は新しい関係の時代に入った。この国にとって日本は、経済の面でアメリカと並び大きな存在となっており、人物交流も盛んに行われている。

#### マニラの気候

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温	25.3	26.0	27.4	28.9	29.4	28.4	27.7	27.3	27.5	27.2	26.5	25.7
降水量	14.3	5.0	6.6	14.8	122.0	249.6	343.5	434.8	317.0	190.5	126.8	60.2
平均湿度	75	70	67	65	70	80	84	84	86	82	82	80

面積：299,404km<sup>2</sup>（日本の約80%）

人口：(89年)6,009.7万人

人口密度：200.7人/km<sup>2</sup>

首都：マニラ (MANILA) 人口185万人(88年)

主要都市：ケソン、ダバオ、セブ、サンボアング

主要民族：マレー系が主体、他に中国、スペイン人との混血

主要言語：ピリピノ語（国語）、英語（公用語）、その他部族語

主要宗教：ローマカトリック（84.7%）、アグリバイ派（3.9%）、イスラム教（4.3%）

政体：立憲共和制

元首：

首相：ポストなし

議会：二院制 上院(24議席) 下院(250議席)

主な政党：〔与党〕＝ LDP(民主フィリピンの闘い)・PDP(ラバン)・LP(自由党)ほか  
〔野党〕＝ KBL(新社会運動)・NP(国民党)・人民党ほか

国民総生産：(89年)427.54億ドル

経済成長率：3.8%(87～89年)

1人当たりGNP：(89年)700ドル

消費者物価上昇率：(88年)8.8%

会計年度：1月1日～12月31日

計画・重点政策：中期開発計画(87～92年)実施中

貧困の撲滅 生産的雇用機会の創出



平等・社会的公正の推進、持続的経済成長を目指す。

主要産業 : [農業] 米、ココナツ、サトウキビ、バナナ、トウモロコシ

[林業] 木材

[鉱業] 銅、クローム、銀、ニッケル、金

主要天然資源 : 銅、クローム、木材、ココナツ、砂糖、金、鉄鉱石

年間人口増加率 : (88年) 2.6%

出生率 : 33人

死亡率 : 8人 乳児死亡率(0~1歳)44人 幼児死亡率(0~5歳)73人

出生児平均余命 : (88年)64歳

教育制度 : 義務教育年限6年

教育程度 : [初等教育] 学校数3.3万校 生徒数923万人 就学率67.3%(87年)

[中等教育] 学校数5,394校 生徒数336万人 進学率64.3%

[高等教育] 学校数1,169校 生徒数112万人 進学率27.0%

成人識字率 : (85年) 男性86% 女性85%

MINUTES OF DISCUSSIONS  
ON  
THE PRELIMINARY STUDY ON THE PROJECT FOR  
CONSTRUCTION AND EQUIPPING OF THE OUT-PATIENT  
DEPARTMENT OF THE VICENTE SOTTO MEMORIAL  
MEDICAL CENTER  
IN  
THE REPUBLIC OF PHILIPPINES

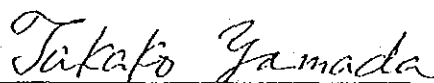
In response to the request from the Government of the Republic of Philippines, the Government of Japan decided to conduct a Preliminary Study on the Project for Construction and Equipping of the Out-Patient Department of the Vicente Sotto Memorial Medical Center (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (JICA).

JICA has sent to Philippines the Preliminary Study Team headed by Dr. Takako Yamada, Department of International Cooperation, National Medical Center Hospital, Ministry of Health and Welfare, from December 7 to December 19, 1992.

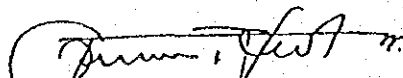
The team had a series of discussions with concerned officials of the Philippine Department of Health and conducted a field survey at the study area.

As a result of discussions and field survey, both sides have confirmed the main items described in the attached sheets.

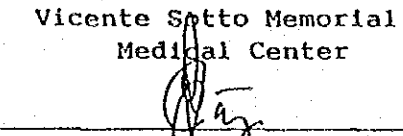
Manila, December 15, 1992



Dr. Takako Yamada  
Leader  
Preliminary Study Team  
JICA



Dr. Quintin T. Derikito  
Medical Center Chief  
Vicente Sotto Memorial  
Medical Center



Dr. JUAN R. NANAGAS  
Undersecretary of Health  
Department of Health  
Republic of Philippines

ATTACHMENT

1. Objective

The objective of the Project is to improve the services of the Out-Patient Department (OPD) of the Vicente Sotto Memorial Medical Center by expanding and renovating necessary facilities and providing necessary equipment for clinical and training service.

2. Project Site

The Project site is located in front of the main building of the Vicente Sotto Memorial Medical Center, with the total area of approximately 3,000 m<sup>2</sup>, as shown in Annex I and II.

3. Executing agency

The Vicente Sotto Memorial Medical Center is responsible for the administration and execution of the Project.

4. Items requested by the Philippines side

After discussions with the Preliminary Study team, the following items were finally requested by the Philippines side.

- 1) Construction of the OPD with the facilities described in Annex III
- 2) Renovation of the Department of Radiology, the Pharmacy and Emergency Room
- 3) Provision of equipment related to the Project which are described in Annex IV

5. Japan's Grant Aid system

- 1) The Philippines side has understood the system of Japan's Grant Aid as explained by the team.
- 2) The Philippines side will take necessary measures, as described in Annex V for the smooth implementation of the Project on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

78



6. The Scope of cooperation

If the Project is found feasible as a result of the Preliminary Study, JICA will send the Basic Design Study Team. The scope of cooperation covered by the scheme of Japan's Grant Aid will be studied and clarified by the above-mentioned Basic Design Study Team.

7. Basic Design Study

The scope of works of the Basic Design Study will include;

- 1) Technical survey
- 2) Management and financial survey
- 3) Preparation of basic design of facilities and equipment
- 4) Preparation of the implementation plan
- 5) Evaluation of the Project

8. Other relevant issues

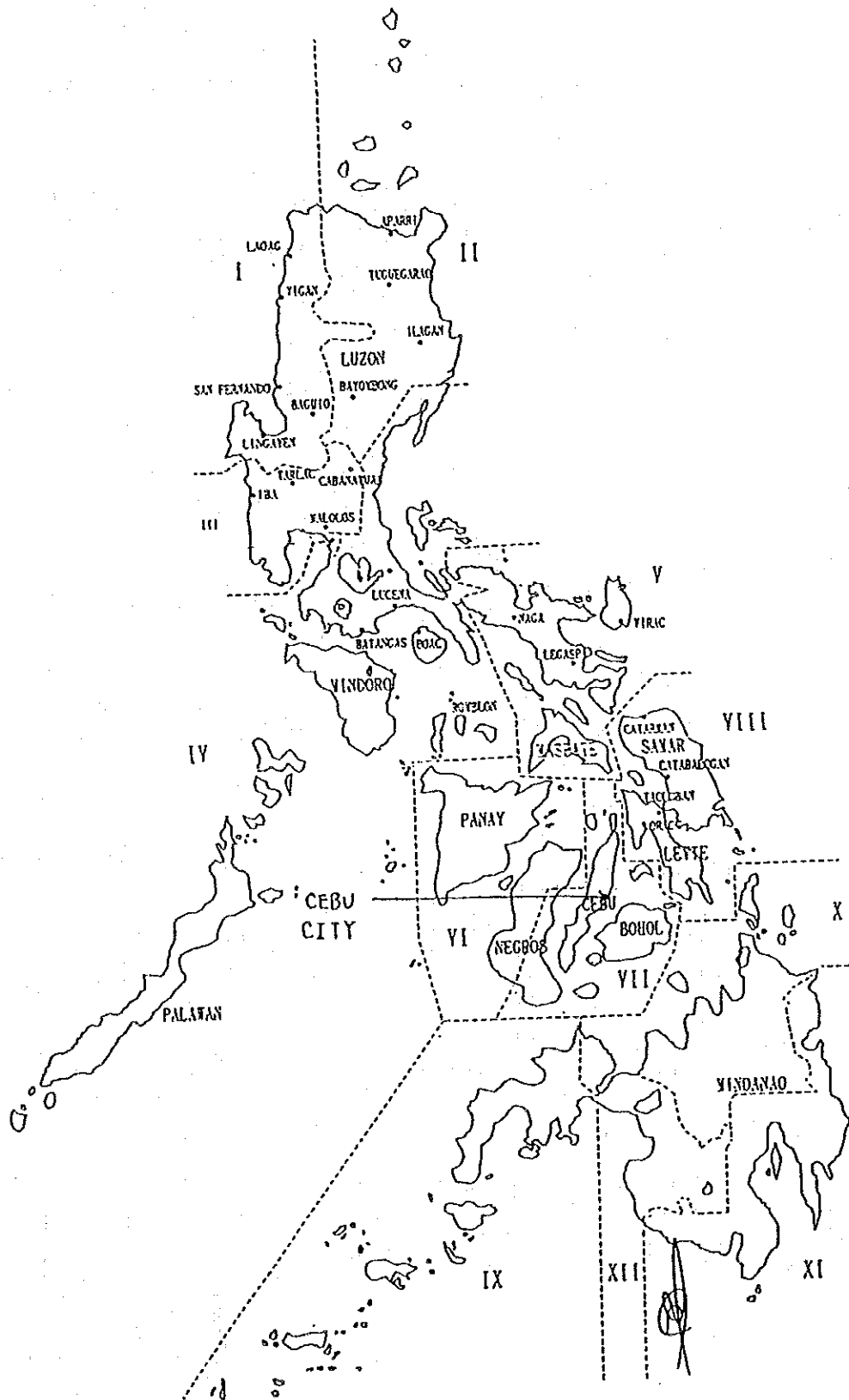
On condition that Japan's Grant Aid is extended to the Project;

- 1) the Department of Health will allocate the necessary budget to the Project for securing sustainable and proper operation and maintenance of the Vicente Sotto Memorial Medical Center
- 2) the Department of Health will provide the necessary personnel as required under the Project for the normal operation of the Vicente Sotto Memorial Medical Center
- 3) the Vicente Sotto Memorial Medical Center will make an inventory list on the major equipment included in the Project and maintain the adequate performance and utilization data on the facilities and equipment included in the Project. These data will be submitted to the Japanese side annually.

(12)

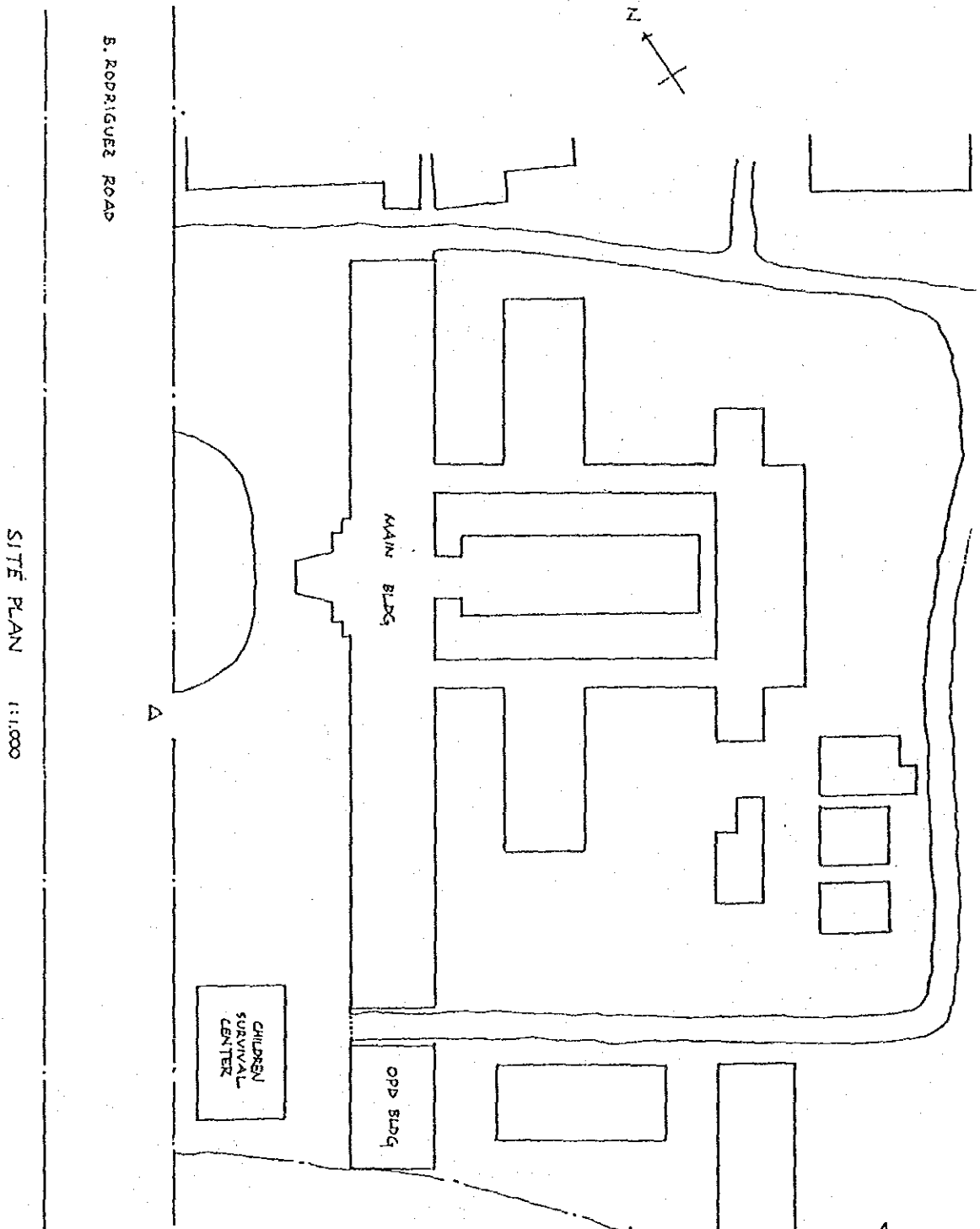


Annex I



(TR)

Annex II



Annex III

- 1) Department of Medicine
- 2) Department of EENT
- 3) Department of Surgery
- 4) Department of Family Medicine
- 5) Department of Rehabilitation
- 6) Department of Pediatrics
- 7) Department of Orthopedics
- 8) Department of Psychiatry
- 9) Department of Laboratory
- 10) Dental Section

(TV)



Annex V

Necessary measures to be taken by the Government of Philippines on condition that Japan's Grant Aid is extended;

1. To secure the site for the Project
2. To clear, level and reclaim the site prior to the commencement of the construction
3. To undertake incidental outdoor works such as gardening, fencing, gates and exterior lighting within and around the site
4. To provide general furniture such as carpets, curtains, tables, chairs, and others
5. To provide facilities for distribution of water supply, drainage, sewage and other incidental facilities to the Project site
  - 5.1) City water distribution main to the site
  - 5.2) City drainage main to the site
  - 5.3) City gas main to the site
6. To exempt taxes and to take the necessary measures for customs clearance of the materials and equipment brought for the Project at the port of disembarkation
7. To exempt Japanese Nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the Philippines with respect to the supply of the products and services under the verified contracts





8. To accord Japanese Nationals, whose services may be required in connection with the supply of products and the services under the verified contracts, such facilities as may be necessary for their entry into the Philippines and stay therein for the duration of their work
9. To use and maintain properly and effectively all the facilities constructed and equipment purchased under the Grant
10. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and the installation of the equipment

TY



添付資料—Ⅲ

DEPARTMENT OF SURGERY

PRIORITY

- A 1. Film Illumination
- " 2. Autoclave (treatment)
- " 3. Treatment Instrument Set
- A 4. Minor Surgical instrument set
- A 5. Vascular Surgical instrument set.
- A 6. Overhead operating room light
- A 7. Suction unit with stand
- ~~A 8. Overhead Operating room light~~
- A 9. Bronchoscope, rigid (pediatric)  
flexible (pediatric)  
rigid (adult)  
flexible (adult)
- A 10. Laryngotracheoscope
- A 11. Electrocautery unit
- A 12. Finocchio rib retractor
- A 13. Libsche knife. (sternal)
- A 14. Tracheostomy set
- A 15. Laparoscope
- A 16. Resectoscope (pediatric)  
(adult)
- A 17. Skin graft knife
- A 18. Skin graft meshier
- B 19. Examining light
- B 20. Examining instrument set.
- E 21. Weighing scale
- B 22. Boiling sterilizer (treatment)
- B 23. Oxygen inhalator treatment
- B 24. General anesthesia machine
- C 25. Examining table
- C 26. Doctor's desk
- C 27. Doctor's chair
- C 28. Patient's chair
- C 29. Dressing table (treatment)
- C 30. Instrument table
- C 31. Instrument cabinet
- C 32. Waste receptacle

**PRIORITY**

*Ophthalmology*

- A 1. Microscope with assistant scope, floor mounted with stand  
X-ly zone - - - - -
- A 2. Vitrectomy & phaco machine
- A 3. Bronchoscope, rigid type
- A 4. Bronchoscope, fiber optic
- A 5. Light source
- A 6. Rib spreader
- A 7. Finoclitto - pediatric  
- adult
- A 8. Universal drill, electric
- A 9. Dermatome
- A 10. Ostocome
- A 11. Bone rongeur
- A 12. Blood pressure apparatus & stand
- A 13. Cystoscope
- A 14. Trans-urethral resection set
- A 15. Heat light
- A 16. Vascular forcep
- A 17. Piping system

*Anesthesia*

- A 1. Pulse Oxymeter - non invasive det w/ O2 saturation
- A 2. Capnograph - non invasive det. w/ CO2 saturation
- A 3. Portable X-ray
- A 4. Pneumatic tourniquet

*Other Department*

- B 1. Stainless steel instrument set - - - - -
- C 2. Catheter set
- C 3. Syringe & needle set
- C 4. Medical supplies set
- C 5. Rubber good set
- C 6. Disposable set
- C 7. Consumable Set

**PRIORITY**      *Surgery*

- A 1. Operating table - - - - -
- A    Operating light
- A 3. Outho operating table
- A 4. Electric suction unit
- A    Cardiac monitor
- A 6. Defibrillator
- A 7. Laryngoscope
- A 8. Electro surgical unit
- A 9. Anesthesia apparatus
- A 10. Anesthesia apparatus - pediatric
- A 11. Ventilator
- A 12. Anesthesia instrument set
- A 13. R.V. bed
- A 14. <sup>I.C.H. bed</sup> Operation binocular microscope (ENT)
- A 15. Mastoid set
- A 16. Hartman alligator
- A 17. Mastoid drill
- A 18. Middle ear curette
- A 19. Round knife
- A 20. Autoclave electric
- A 21. Self retaining mastoid retractor
- A 22. Ear speculum
- A 23. Nasal forceps
- A 24. Thermal Blankets
- B 25. Straight hartman forcep (left & right)
- C 26. Instrument cabinet.

*Neurosurgery*

- A 1. Operation binocular microscope
- A 2. Cranial instrument

DEPARTMENT OF NEUROSURGERY

**PRIORITY**

- A 1. Diagnostic Instruments
  - a) Ophthalmoscope
  - b) Otoscope
  - c) Tuning Fork
  - d) Pin Wheel
  - e) Reflex Hammer
- A 2. C.T. Scan Machine
- A 3. Binocular Operating Microscope
- A 4. Neuro Micro Surgery Vascular Instruments
- B 5. Rapid Cassete changes
- B 6. Neuro Cranial Instruments
- B 7. CUSA-Cavitron Ultrasonic Aspirator
- C 8. EMG Machine
- C 9. NCV Machine
- C 10. Stereotactic device
- C 11. Cranial ultrasound

DEPARTMENT OF ORTHOPEDICS

**PRIORITY**

- A 1. Arthroscopy set - light source - - - - -
  - Fiberoptics
  - Probes & instruments
  - TV monitor
  - Video cassette recorder
- A 2. Examination table
- A 3. Doctor's table
- A 4. Emergency light
- A 5. Chair
- A 6. Electric cast cutter
- A 7. Cast spreader
- A 8. Examining instrument set
- B 9. Spica table
- B 10. Dressing tray with trolley
- B 11. Film illuminator
- B 12. Pneumatic tourniquet with small, medium & large cuffs
- B 13. Instrument cabinet
- B 14. Filing cabinet
- B 15. Illuminator lamp
- B 16. Aluminum pail
- B 17. Cast knife
- B 18. Manual cast cutter
- B 19. Patient chair
- C 20. Computer with hard disc & printer
- C 21. Portable autoclave machine/sterilizer
- C 22. Laryngoscope
- C 23. Ambu-bag

DEPARTMENT OF MEDICINE

- A 1. Film illuminator . . . . . 1st Priority
- A 2. Instrument cabinet
- A 3. Medical refrigerator (treatment)
- A 4. Weighing scale
- A 5. Height scale
- A 6. Examining instrument set
- A 7. Computer
- A 8. Echocardiogram
- A 9. ECG Machine
- A 10. EEG Machine
- A 11. Cardiodoppler
- A 12. Sphygmomanometer with stethoscope
- B 13. Examining table
- B 14. Examining light
- B 15. Waste receptacle
- B 16. Doctor's desk
- B 17. Patient's chair
- B 18. Patient's chair

DIABETES CLINIC ROOM

- A 1. Weighing scale
- A 2. Height scale
- A 3. Examining light
- A 4. Examining table
- A 5. Filing cabinet
- A 6. Medicine refrigerator for insulin
- A 7. Overhead projector
- A 8. Carousel screen
- A 9. Glucometer
- B 10. Waste receptacle
- B 11. Doctor's desk
- B 12. Doctor's chair
- B 13. Patient's chair
- B 14. Nurse table & chair
- B 15. Small table for dietician & chair.

DEPARTMENT OF PEDIATRICS

**PRIORITY**

- A 1. Examining table - - - - -
- A 2. Film illuminator
- A 3. Examining light
- A 4. Weighing scale - infant  
- adult
- A 5. Height scale
- A 6. Examining instrument set
- A 7. Doctor desk
- A 8. Doctor chair
- A 9. Patient chair
- A 10. ECG Machine - pedia leads
- A 11. Bone marrow set (for bone marrow)  
(for bone marrow biopsy)
- A 12. Incision & drainage set
- A 13. Ophthalmoscope
- A 14. Otoscope
- A 15. Electrobiogram machine
- A 16. Instrument cabinet
- A 17. Dressing table
- A 18. Pediatric stethoscope
- A 19. Computer
- B 20. Microscope
- B 21. Waste receptacle



DEPARTMENT OF FAMILY MEDICINE

FAMILY MEDICINE

\*PRIORITY

- |   |   |  |
|---|---|--|
| A | 1. Computer - (Objective:<br>with printer<br>Note:<br>THE MEDICAL SPECIALISTS<br>HAVE KNOWLEDGE IN<br>COMPUTER USE. | 1) To file statistics of Family<br>Medicine patients including<br>Community Medicine data;<br>2) To facilitate data analysis<br>for resident's research papers<br>every year; and<br>3) To facilitate retrieval of<br>information during monthly<br>audit, clinicopathologic<br>conference & other conferences |
| B | 2. Sphgmomanometer  |  |
| C | 3. Examining table  |  |
| C | 4. Consultation table & chairs  |  |
| C | 5. Dressing Table   |  |
| C | 6. Cabinet  |  |
| C | 7. Foot stool   |  |

DERMATOLOGY

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| A | 1. Microscope               |
| A | 2. Camera                   |
| A | 3. Slide Projector          |
| A | 4. Cautery Machine          |
| B | 5. PLIVA lamp               |
| C | 6. Examining table          |
| C | 7. Examining instrument set |
| C | 8. Doctor's desk.           |
| C | 9. Doctor's chair           |
| C | 10. Patient's chair         |
| C | 11. Instrument cabinet      |

DEPARTMENT OF RADIOLOGY

PRIORITY

- A 1. General X-ray unit with tomo
- A 2. Multi purpose X-ray TV set
- A 3. Mobile X-ray unit
- A 4. X-ray accessories
- A 5. Cassette pass box
- A 6. Typewriter electric
- A 7. CT scan
- B 8. Automatic film processor
- B 9. Film illuminator
- B 10. Film filing cabinet
- B 11. Desk & chair
- C 12. Computer

DEPARTMENT OF ULTRASOUND

- A 1. Ultrasound linear scanner with printer - sectoral  
- linear scanner
- A 2. Typewriter
- B 3. Bed, patient
- B 4. Desk & chair
- C 5. Steel cabinet
- C 6. Computer

RADIO THERAPY SECTION

List of Equipments need:

*PRIORITY*

A - Brachy Therapy

B - Pocket Dosimeter

C - Simulator

## PRIORITY

Electrocardiograph 1-channel  
Electrocardiograph 3-channel  
Typewriter  
Bed, patient  
Desk & Chair  
Steel Cabinet

- A 1. Electroencephalograph 18-channel
- A 2. Typewriter
- A 3. Steel Cabinet
- A 4. Filing cabinet for tracings
- A 5. Computer with printer
- B 6. Desk & chair
- B 7. Bed, patient.

- 
- A 1. Esophago-gastroscope fiberoptic with complete accessories
  - A 2. Proctosigmoidoscope set, fiberoptic with complete accessories
  - A 3. Colonoscope, fiberoptic with complete accessories
  - A 4. Suction apparatus
  - A 5. Endoscopic cabinet & accessory cabinet
  - A 6. Instrument table
  - A 7. Kick bucket
  - A 8. Endoscopic table
  - A 9. Light source
  - A 10. Film illuminator
  - A 11. Lecture scope
  - A 12. Soaking tray - for endoscope & for colonoscope
  - A 13. Video camera
  - A 14. Endoscopic hanger
  - A 15. Cautery set
  - A 16. Videoscope machine-endoscope
  - A 17. Computer (not needed if given the videoscope machine)
  - A 18. Alligator forceps
  - A 19. ERCP scope
  - B 20. Doctor's desk
  - B 21. Patient's chair
  - B 22. Fiberoptic cleaning machine
  - B 23. Ultrasonic cleaner

DEPARTMENT OF ENT

LIST OF PRIORITIZED EQUIPMENTS:

PRIORITY

ENT INSTRUMENTS

- A 1. ENT Microscope
- A 2. Suction Machine
- A 3. Mastoid set
- A 4. Straight Hartman Forcep
- A 5. Hartman Alligator
- A 6. Hartman Cup
- A 7. Self retaining mastoid retractor; WEIT Laner retractor
- A 8. Fiberoptic laryngoscope
- A 9. Rigid laryngoscope
- A 10. Rigidesophagoscope
- B 11. Middle Ear Curette
- B 12. Round knife, Middle Ear
- B 13. Mastoid drill
- B 14. Nasal Forceps.
- B 15. Laryngeal mirror
- B 16. Ear Speculum 1 set
- C 17. Nasopharyngeal mirror
- C 18. Fiberoptic nasopharyngoscope

OPHTHA INSTRUMENTS

- A 1. Yag laser
- A 2. Argon laser
- A 3. Operating Microscope and Assistant's Scope
- A 4. Biometer
- A 5. Autorefractor
- A 6. Cataract Set
- B 7. A Scan
- B 8. B Scan
- B 9. Pterygium Set
- B 10. Chalazion Set
- B 11. Goldman Perimeter
- B 12. M Keratometer
- B 13. Fundus Camera
- B 14. Slit Lamp

DEPARTMENT OF PATHOLOGY

PRIORITY

- A 1. Unit laboratory table
- A 2. Autoclave vertical type
- A 3. Hemato slide stainer.
- A 4. Automatic tissue processor
- A 5. Blood cell counter
- A 6. Water still
- A 7. Incubator
- A 8. Centrifuge
- A 9. Refrigerator
- A 10. Automatic dispenser
- A 11. Laboratory instrument set
- A 12. Spectrophotometer
- A 13. Microhematocrit centrifuge
- A 14. Pipette shaker
- A 15. Hemoglobinometer
- A 16. Clean Bench
- A 17. Water Bath
- A 18. Chair
- A 19. Automater chemistry analyzer
- A 20. Computer
- A 21. Microscope
- A 22. Hot air sterilizer
- B 23. Machine refrigerator
- B 24. Electrophoresis system
- B 25. Carbon dioxide incubator
- B 26. Ph meter
- B 27. Ultra-low temperature freezer
- B 28. Drying oven
- B 29. Refrigerator centrifuge
- B 30. Blood gas analyzer
- B 31. Flame photometer
- B 32. Cell separator, flow cytometer
- C 33. Rotary microtome
- C 34. Fluorescent microscope
- C 35. Precision balance

NEUROLOGY DEPARTMENT

- Priority A 1. Examining lamp  
Priority A 2. Examining instrument set  
Priority A 3. Film illuminator  
Priority A 4. Instrument cabinet  
B 5. Examining table  
B 6. Waste receptacle  
B 7. Doctor's desk  
B 8. Doctor's chair  
B 9. Patient's chair

BRONCHOSCOPY ROOM

- A 1. Bronchoscopic table  
A 2. Bronchoscopic cabinet  
A 3. Suction apparatus  
A 4. Light Source  
A 5. Film Illuminator  
A 6. Bronchoscopic hanger  
A 7. Pulmonary function set  
B 8. Instrument table  
B 9. Doctor's desk  
B 10. Patient's chair  
B 11. Doctor's chair

DENTAL DEPARTMENT

*PRIORITY*

1. Dental Chair Unit - - -	- - A
2. Dental X-ray Unit intraoral	- - A
3. Dental X-ray Unit panoramic	- - C
4. Autoclave (Dental) - - -	- - A
5. Instrument cabinet - - -	- - A
6. Refrigerator - - -	- - C
7. Clinic Chair - - - - -	- - B
8. Laboratory Engine - - - -	- - C
9. Laboratory Lathe - - - -	- - C
10. Centrifugal casting machine	- - C
11. Trimmer - - - - - - - -	- - C
12. Ring furnace - - - - - -	- - C
13. Examining & Treatment instrument set 3units	- - A
14. Amalgamator - - - - - -	- - B
15. Doctor desk - - - - - - -	- - B
16. Doctor chair - - - - - -	- - B
17. Patient chair (bench) - -	- - B
18. Electric sterilizer - - -	- - A
19. Dental Sonic Scalars - - -	- - A
20. Surgical dental instruments	- - A
21. Electro-cantery machine - -	- - A



DEPARTMENT OF REHABILITATION

PRIORITY

*Hydrotherapy Room*

- C 1. Binary pool (floor model) -
- C 2. Filtrate water disinfecton for hydrotherapy -
- C 3. Bubbles bathing unit -
- C 4. Pool side lifter -
- C 5. Whirlpool bathing unit -

*Therapeutic-Exercise Room*

- A 1. Bicycle exerciser
- A 2. Tilt table
- A 3. Quadriceps table
- A 4. Orthotom II
- A . . Treadmill
- B 6. Duplex pulleys
- B 7. Rotary wrist machine
- B 8. Shoulder wheel
- B 9. Wrist roll
- B 10. Facillator
- B 11. Lower limbs extension & flexion
- B 12. Restrator
- B 13. Wall leant. board
- B 14. Training mat
- B 15. Dumbell set with rack
- B 16. Mat platform
- B 17. Exercise stairs
- B 18. Parallel bars
- B 19. Overhead frame
- B 20. Overhead training bed
- B 21. Posture training mirror
- B 22. Stall bars
- B 23. Chinning bar
- B 24. Hydraulic couch

**PRIORITY** *Electromedical & thermo-therapy room*

- A 1. *Traction (intermittent)*
- A 2. *Low frequency therapy apparatus*
- A 3. *Microwave therapy equipment*
- A . *Ultrasound diathermy equipment*
- B 5. *Paraffin bath, for upper & lower limbs*
- B 6. *Pack warmer*
- B 7. *Training bed*
- B 8. *Infrared ray apparatus 600W*

*Diagnostic & examination room*

- A 1. *CYBE 350*
- A 2. *Limloader*
- A 3. *Chronaximeter*
- A . *Electromyogram*
- A . *Hand dynamometer*
- A 6. *Minnesota spatial relations test*
- A 7. *Minnesota manual dexterity test*
- A 8. *O'connor finger dexterity test*
- A 9. *Purdue peaboard test*
- A 10. *Pennsylvania bi-manual work sample*
- A 11. *Roeder manipulative aptitude test*
- A 12. *Neuro-developmental training ball*
- A 13. *Word volumeter*
- A 14. *Tuning fork*
- B 15. *Goniometer*
- B 16. *Aesthesiometer*

EMERGENCY ROOM

*PRIORITY*

- A - 1. Defibrillator
- A - 2. ECG Machine
- A - 3. Wall mounted BP Apparatus  
Ditto - pediatric
- A - 4. Wall mounted suction machine
- A - 5. Cast cutter
- A - 6. Hand surgery set
- A - 7. Traction instrument set
- C - 8. Autoclave
- A - 9. Cardiac monitor
- B - 10. Nebulizer
- A - 11. Wall mounted O<sup>2</sup> outlet
- A - 12. Tracheostomy set - adult  
-pediatric
- A - 13. Laryngoscope
- A - 14. Burr-holding instruments
- B - 15. Operating table
- B - 16. Operating light
- A - 17. Electro surgical unit
- A - 18. Ventilator/Respirator
- B - 19. Anesthesia apparatus
- B - 20. Instrument cabinet
- A - 21. Computer

DEPARTMENT OF OBSTETRICS & GYNECOLOGY

**PRIORITY**

- A 1. Clinical examination table
- A 2. Gynecological examining unit
- A 3. Doppler fetal heart detector
- A 4. Instrument cabinet
- A 5. Examining instrument set
- A 6. Colposcope
- A 7. Aspirator
- B 8. Waste receptacle
- B 9. Weighing scale
- B 10. Doctor desk
- B 11. Doctor chair
- B 12. Patient chair
- B 13. Kymographic insufflation apparatus
- B 14. Cryosurgery system for gynecology
- C 15. Vacuum extractor

PSYCHIATRY DEPARTMENT

*PRIORITY*

A - 1. Electro Convulsive therapy (ECT) Machine

B - 2. Overhead Projector

B - 3. Computer

TRAINING AND RESEARCH CENTER  
EQUIPMENT REQUEST

- A = OVERHEAD PROJECTORS
- = CAROUSEL PROJECTORS
- = VHS PLAYERS
- = TV MONITORS
- = XEROX COPIER MACHINES
- B = SOUND SYSTEM WITH MICROPHONES
- = FAX MACHINES
- = CAMERA WITH MACRO-LENS
- C = MIMEDOGRAPHING MACHINES (duplicativy machiner)
- = COMPUTER LASER PRINTERS

NURSING SERVICE DIVISION

REQUEST FOR ESSENTIAL EQUIPMENT UNDER "A" CATEGORY

PRIORITY

- A Oxygen Therapy Set
- A Inhalation Therapy Set
- A Suction Apparatus
- A Volume Respiator, (Pediatrics & Adult)
- A Incubator With Monitor (Neonatal Intensive Care)
- A Central Cardiac Monitor
- A Bedside Cardiac Monitor

FOR THE PATIENT EDUCATION/COUNSELING ROOM

ALL PRIORITY

- White Board
- Black Board
- Flip Chart Stand
- Overhead Projector
- Slide Projector
- Projector Screen
- T.V.
- VHS Player
- Microphone
- Portable Sound System

## 添付資料-IV

### 収集資料

#### 1. 本計画対象施設における収集資料

- 1-1. VSMCの組織図
- 1-2. RESIDENCY TRAINING & MANUAL 1988
- 1-3. AUTHORITY TO TRAIN PHYSICIANS-RESIDENCE LAW 1989
- 1-4. "PROFILE" SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1992
- 1-5. PROPOSED OCCUPATIONAL THERAPY DEPT. OF REHABILITATION MEDICINE
- 1-6. SCHOOLS/HOSPITALS WHERE ALL TRAINEES COME FROM
- 1-7. FLOW OF SUPPLY AND MEDICINE IN VSMC
- 1-9. SYSTEM OF OPERATION OF THE MEDICAL SOCIAL WORKERS IN THE HOSPITAL
- 1-9. エンビエ-メント導入計画書
- 1-10. RECAPITULATION OF SUMMARIES OF ISSUES OF SUPPLY AND MATERIALS
- 1-11. PROPOSED ORGANIZATION STRUCTURE
- 1-12. CONDITIONS OF MAINTENANCE EMPLOYEES ON EACH FACILITIES
- 1-13. MEDICAL EQUIPMENT LIST AND ITS WORKING CONDITIONS
- 1-14. REQUIRED MEDICAL TOOLS/CONSUMABLES LIST
- 1-15. NUMBER OF PATIENTS RECEIVED BY THE EMERGENCY ROOM UNIT WITH REFERRAL 1991
- 1-16. SOURCES OF REFERRAL TO VSMC OPD MAY 1992 & JUNE 1992
- 1-17. PERSONNEL PROJECTION FOR THE NEXT 5 YEARS PER DEPARTMENT
- 1-18. REQUESTED MAINTENANCE TOOLS/PARTS/CONSUMABLES LIST
- 1-19. VSMC OPD OF PATIENTS FOR THE MONTH OF NOVEMBER 1992
- 1-20. VSMC MEDICAL POSITIONS DEPLOYMENT
- 1-21. PROFILE OF VICENTE SOTTO MEMORIAL MEDICAL CENTER BY QUINTIN DERIKITO, MD.
- 1-22. FIVE YEARS DEVELOPMENT PLANS FOR VICENTE SOTTO MEMORIAL MEDICAL CENTER
- 1-23. VSMC TECHNICAL SPECIFICATIONS
- 1-24. FLOOR AREA TABULATION OF EXISTING BUILDING
- 1-25. VSMC DEVELOPMENT PLAN SHOWING ALL BLDGS. ON DIFFERENT LOTS 1:1000
- 1-26. FLOOR PLANS OF EXISTING MAIN BLDG., INCLUDING FRONT EAST & WEST WING, REAR WEST & EAST WING, KITCHEN & LAUNDRY BLDG., AND ETC. 1:500.
- 1-27. FLOOR PLANS OF EXISTING THOSE BLDGS. WITH COMMUNICATION LINES 1:200.
- 1-28. FLOOR PLANS OF EXISTING OPD BLDG. 1:100
- 1-29. FLOOR PLANS OF RENOVATION OF EMERGENCY & PHARMACY SECTION 1:100
- 1-30. FLOOR PLANS OF VERTICAL EXPANSION AND RENOVATION OF WEST WING. 1:100
- 1-31. FLOOR PLANS, SECTIONS & CONSTRUCTION DRAWINGS OF CHILD. SURVIVAL CENTER BLDG. 1:100
- 1-32. FLOOR PLANS, SECTIONS & CONSTRUCTION DRAWINGS OF EXISTING SERGICAL SECTION BLDG. INCLUDING OPERATING RM. CENTRAL SUPPLY & GTZ 1:100

#### 2. 保健省における収集資料

- 2-1. CONSULTANTS' FINAL REPORT NATIONAL HOSPITAL SERVICES DEVELOPMENT PLAN 1992
- 2-2. 保健省組織図
- 2-3. DRAFT NATIONAL HEALTH CODE
- 2-4. MAGNA CARTA OF PUBLIC HEALTH WORKERS 1992
- 2-5. 保健省よりの質問状の回答

#### 3. その他の機関における収集資料

- 3-1. CEBU CITY MEDICAL CENTER. COMPATRATIVE REPORT ON THE ACTIVITIES AND ACCOMPLISHMENTS FOR THE YEAR 1988, 1989, 1990 AND 1991.
- 3-2. LAPU-LAPU CITY DISTRICT HOSPITAL, HOSPITAL STATISTICAL REPORT
- 3-3. CITY PLANNING LAW ZONING ORDINANCE PUBLISHED ON OCTOBER 30, 1990
- 3-4. THE NATIONAL BUILDING CODE OF THE PHILIPPINES AND ITS IMPLEMENTING RULES AND REGULATIONS, 1992 EDITION
- 3-5. THE FIRST CODE OF THE PHILIPPINES AND REGULATIONS, REVISED EDITION



添付資料-V

調査日程

平成4年12月06日 (日)	JL-741にて成田発 マニラ到着
07日 (月)	JICA表敬訪問 打ち合わせ 日本大使館表敬訪問 保健省表敬訪問 打ち合わせ PR-839にてマニラ発 セブ着
08日 (火)	ビセンテ・ソト記念医療センター(VSMC)表敬訪問 協議及びサイト調査
09日 (水)	サイト調査 VSMC各部門責任者との全体会議
10日 (木)	VSMCとの協議 サイト調査 セント・カース病院調査
11日 (金)	セント・シイ医療センター調査 VSMCとの協議 サイト調査 ラファ・シイ地域病院調査
12日 (土)	資料整理 団内会議
13日 (日)	PR-832にてセブ発 西田団員JL-742にてマニラ発 成田着
14日 (月)	保健省との協議 パリアン総合病院(PGH)調査
15日 (火)	ミニッツ署名 大使館・JICA事務所報告
16日 (水)	乳井団員PR-831にてマニラ発 セブ着 団長、神崎団員 JL-742にてマニラ発 成田着 有岡団員PR-831にてマニラ発 セブ着 乳井・有岡団員サイト調査
17日 (木)	乳井団員サイト調査 有岡団員PR-832にてセブ発 マニラ着
18日 (金)	乳井団員サイト調査 乳井団員PR-832にてセブ発 マニラ着
19日 (土)	乳井・有岡団員JL-742にてマニラ発 成田着

面談者リスト

JICAフィリピン事務所

町田 哲  
松本 賢二

JICAフィリピン事務所 次長  
JICAフィリピン事務所

在フィリピン日本大使館

柏木 悦郎

日本大使館一等書記官

保健省

Dr. Linda L. Milan Assistant Secretary of Health  
Dr. Juan R. Nanagas Assistant Secretary of Health

VICENTE SOTTO MEMORIAL MEDICAL CENTER

Dr. Quintin Derikito Director  
Dr. Filomena G. Delos Santos Chief Training Officer  
Ms. Delia Z. Mediano Chief Nurse  
Ms. Carmelita T. Villanobos Assitant Chief Nurse  
Dr. Joy Fe A. Lim Head, Out-Patient Department  
Mr. Pablito V. Taneo, Jr. Chief, Administration Division  
Mr. Atty Dionisio D. Tee Legal Officer  
Ms. Avelinda B. Ybanez Human Resources Management Officer  
Ms. Lydia B. Jaban Chief Accountant  
Dr. Samuel Trocio Chief, Department of Surgery  
Dr. Francisca Manulaet Chief, Department of Medicine  
Dr. Rosita Galdo Chief, Department of Pediatrics  
Dr. Belinda Panares Chief, Department of OB-GYN  
Dr. Emmanuel Miel Chief, Department of EENT  
Dr. Gaudekia Reyes Chief, Department of Anesthesia  
Dr. Fidencio Panares Chief, Department of Orthopedics  
Dr. Joy Fe Lim Chief, Department of Family Medicine  
Dr. Augustos Costas Chief, Department of Psychiatry  
Dr. Denia Mapalo Chief, Department of Radiology  
Dr. Philip Yray Radiologist for Cobalt 60  
Dr. Cecilia Bernad Head, Emergency Room Service  
Dr. Primo Joel Alvez Chief, Department of Pathology  
Dr. Bonifacio David Head, Dental Section  
Dr. Patria Angus Head, Child Survival Center  
Dr. Jorgen Lim Head, Rehabilitation Unit  
Dr. Purita Tanco Department of Acupuncture  
Dr. John Mata Chief, Department of Neurosurgery  
Mr. Leo D. Odi Engineer, Consultant

GTZ(DEUTSCHE GESELLSCHAFT FÜR TECHNISCHE ZUSAMMENARBEIT GMBH)

Dr. Med. U. Mikulicz  
Mr. George Grundmann Project Manager, Philippine-German Hospital  
Equipment Maintenance Project

PHILIPPINE GENERAL HOSPITAL

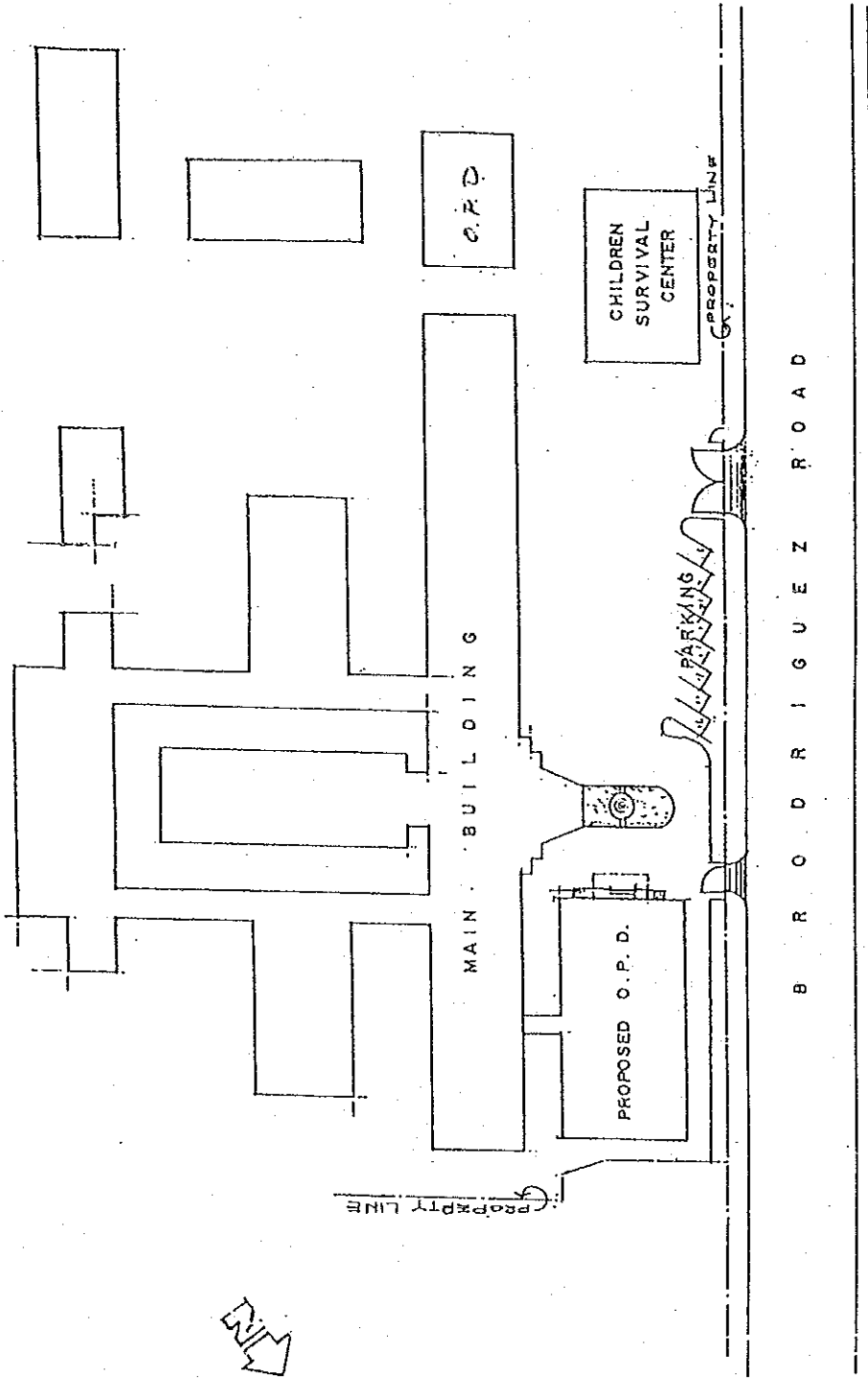
Dr. Felipe A. Estrella Director

CEBU DOCTORS' HOSPITAL

Dr. Pontenciano Larrázabal Director

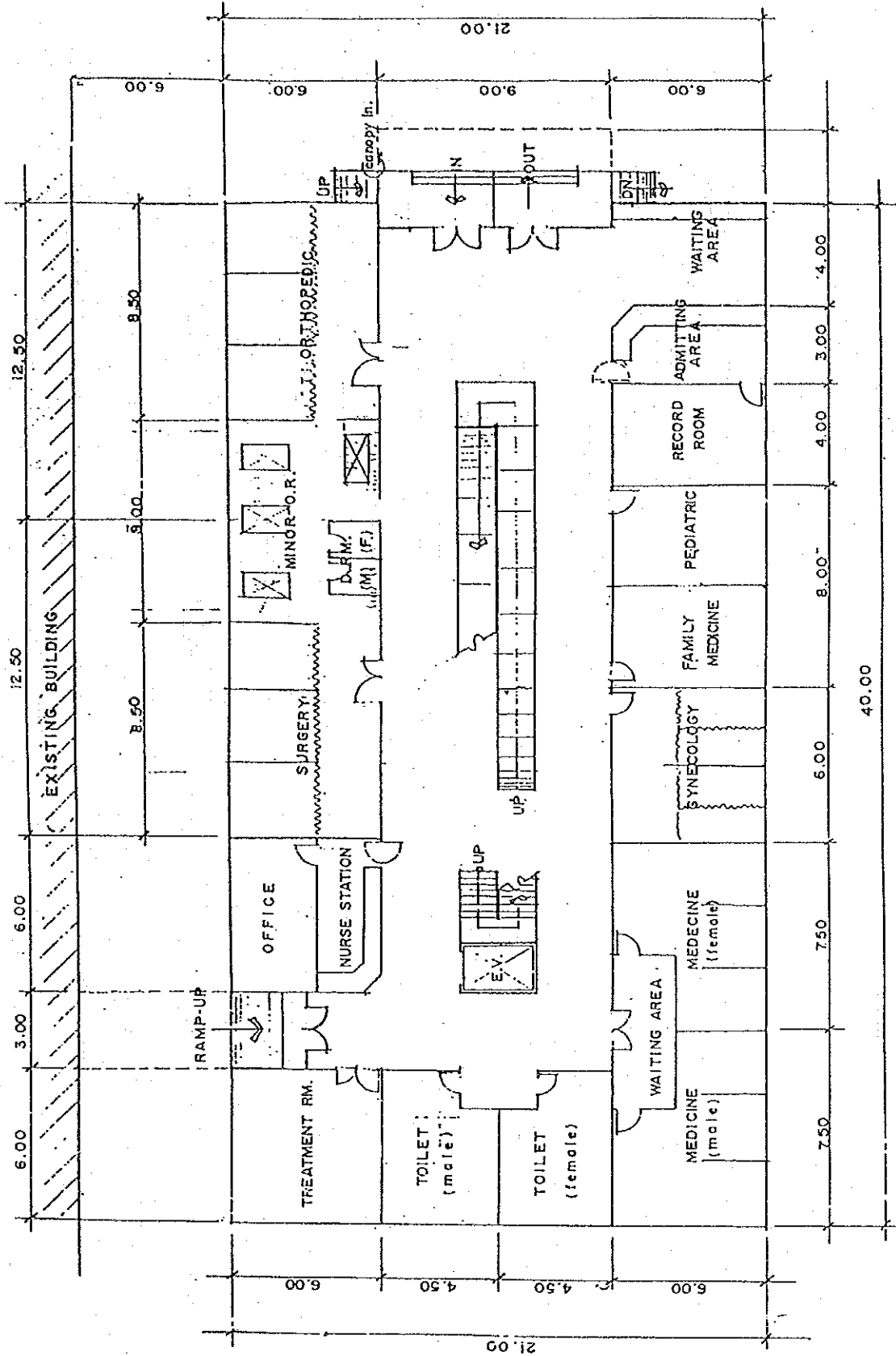
CEBU CITY MEDICAL CENTER  
Dr. Francisco B. Diy, Jr.      Director

LAPU-LAPU CITY DISTRICT HOSPITAL  
Dr. Jaime Kamino

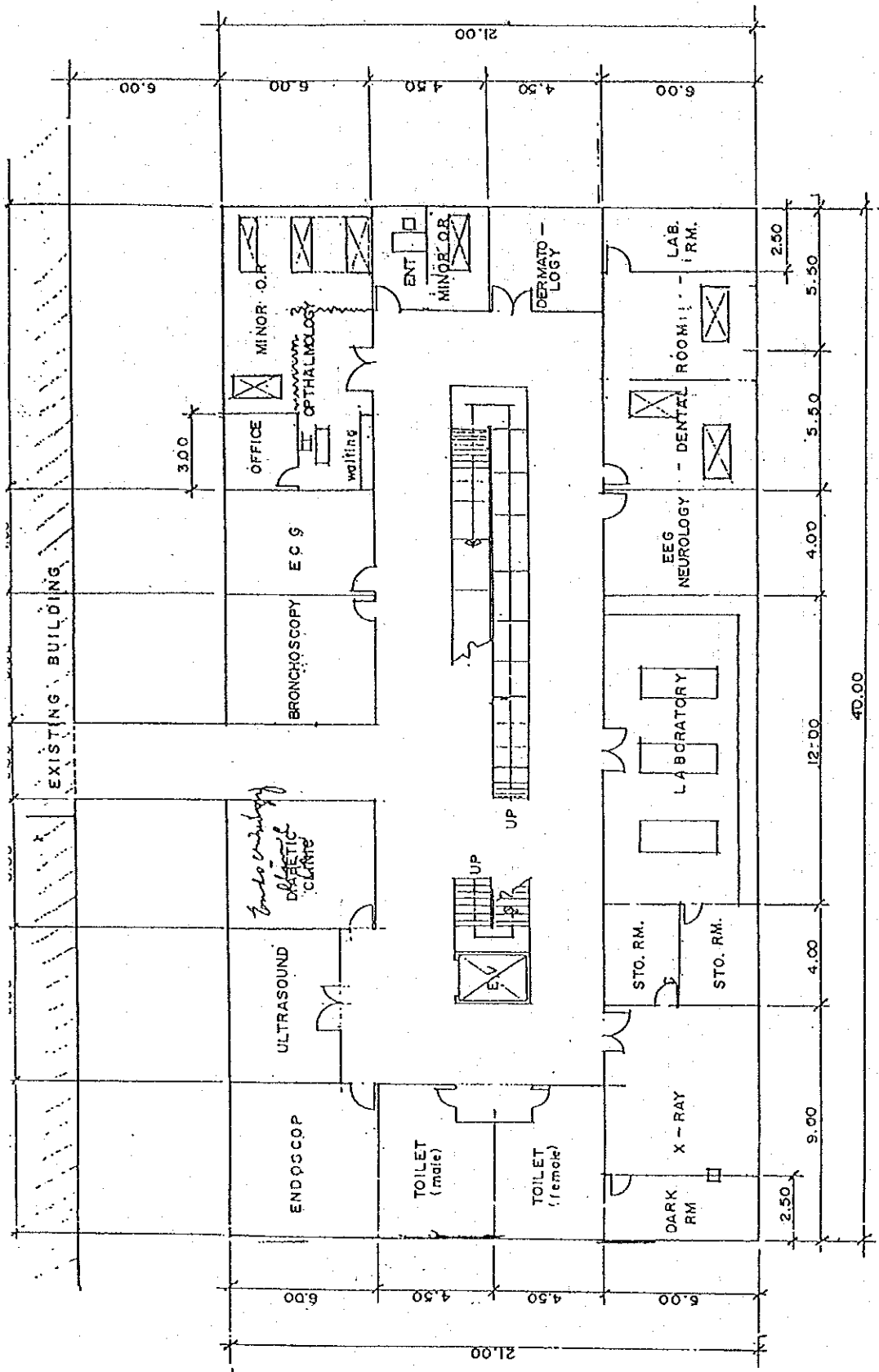


SITE DEVELOPMENT PLAN

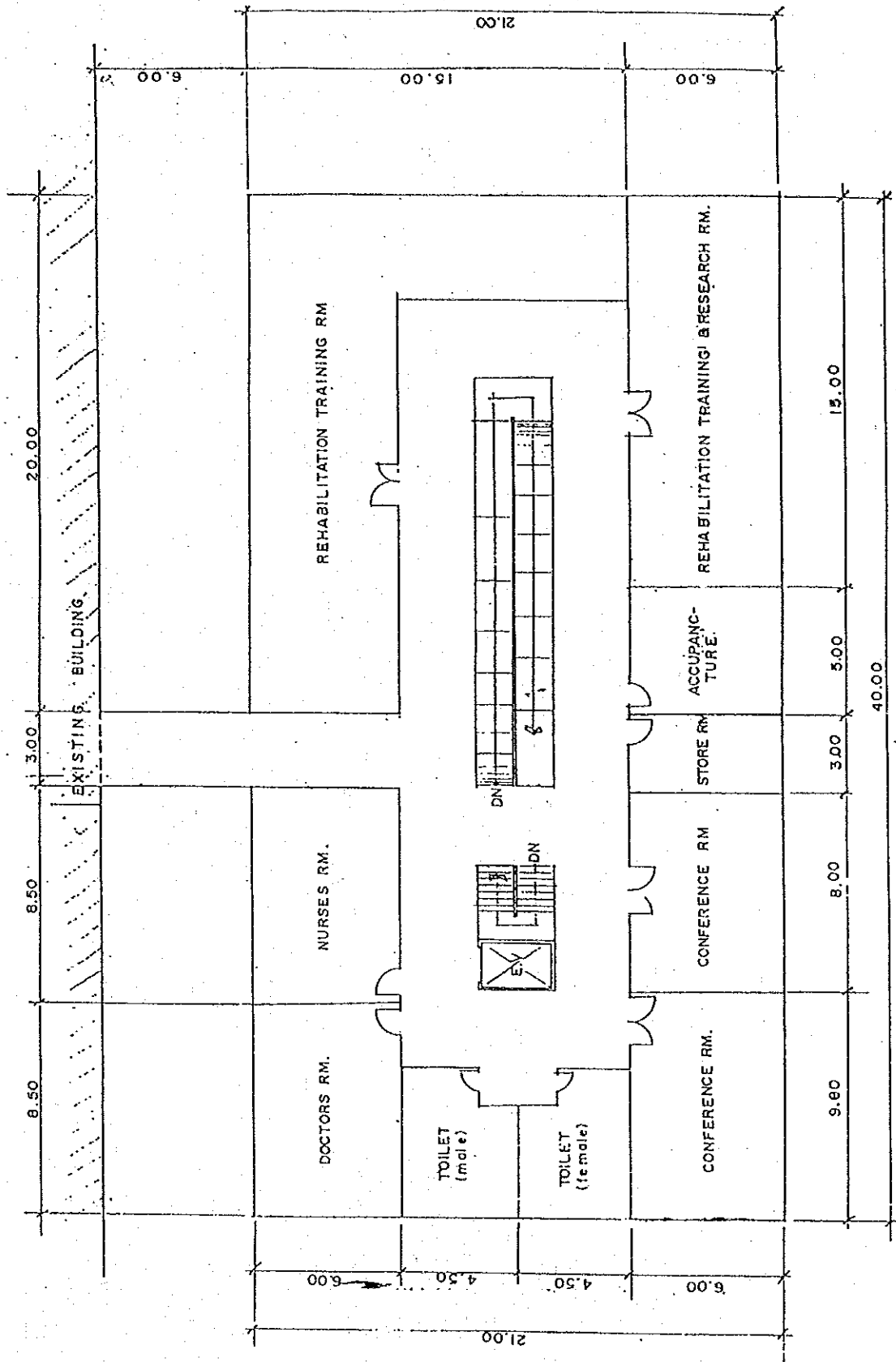
OUT-PATIENT DEPARTMENT AND REHABILITATION CENTER OF  
SOUTHERN ISLAND MEDICAL CENTER



GROUND FLOOR PLAN  
SCALE 1:200mfs.



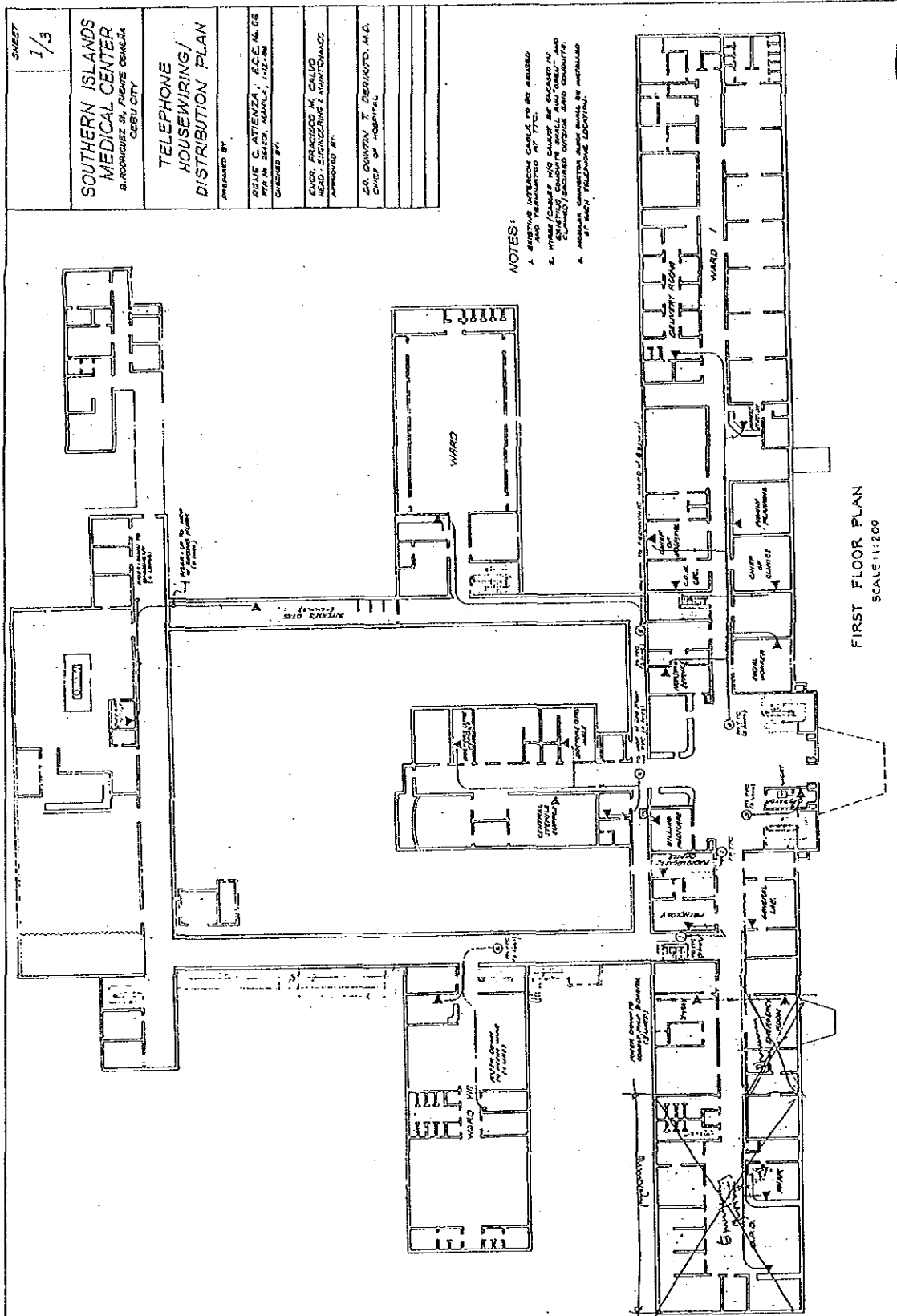
SECOND FLOOR PLAN  
SCALE 1:200mils.

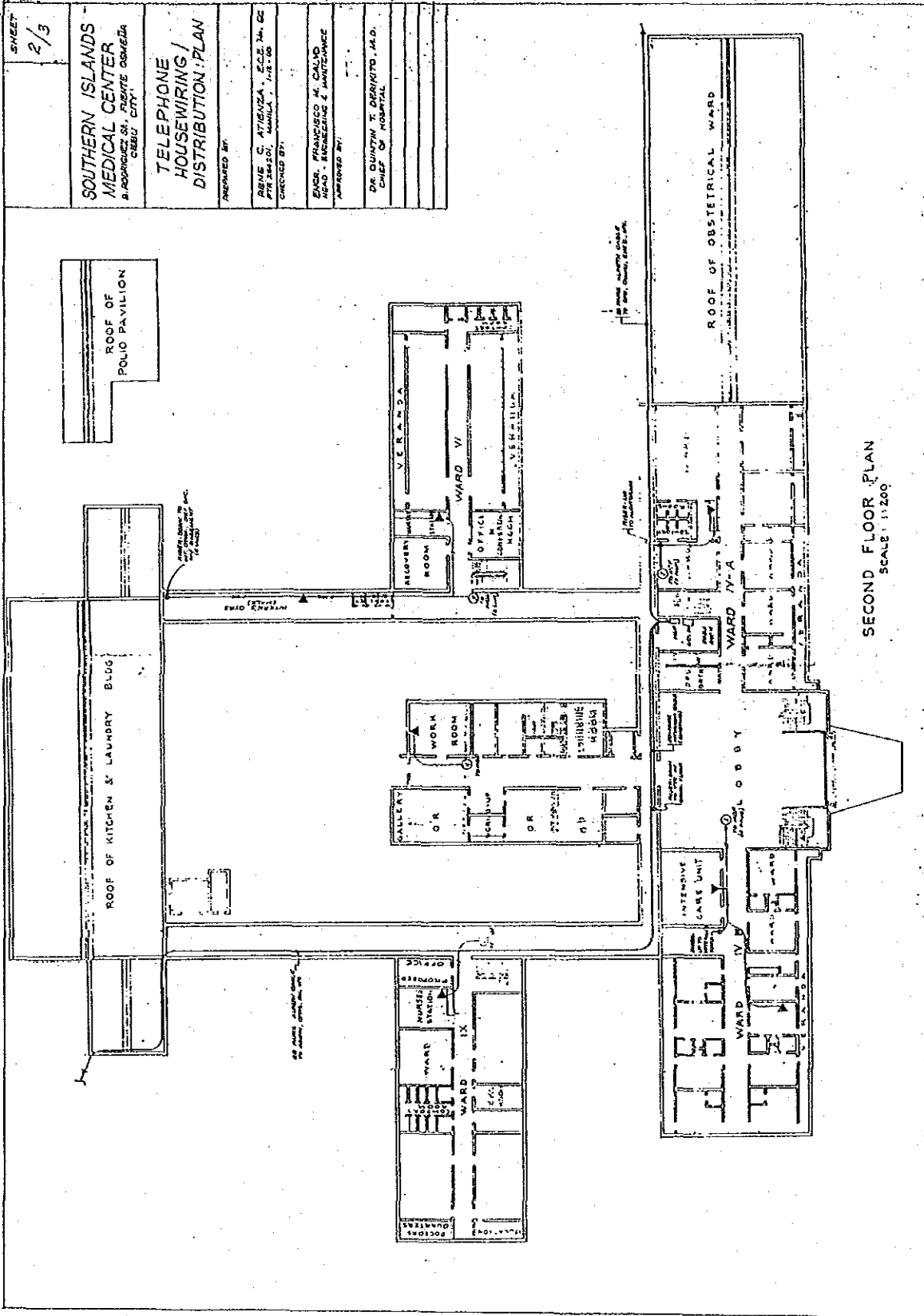


THIRD FLOOR PLAN  
SCALE 1:200mths.









SECOND FLOOR PLAN  
SCALE 1:1200

SHEET  
2/3

SOUTHERN ISLANDS  
MEDICAL CENTER  
B. RODRIGUEZ ST., FUENTE OSORIO  
CERRO, C.R.

TELEPHONE  
HOUSEWIRING /  
DISTRIBUTION PLAN

PREPARED BY:  
ENGR. C. VITURZA, C.E., No. 62  
P.O. BOX 1201, MANILA, P.I. 1-8-56  
CHECKED BY:

ENGR. FRANCISCO M. CALO  
1600 - BARRANGUAY 2, MANILA  
APPROVED BY:  
DR. QUINCY T. OSORIO, M.D.  
CHIEF OF HOSPITAL

**SITE DEVELOPMENT PLAN**

**PERSPECTIVE**

JONES AVENUE

R. RODRIGUEZ ST

VIGNITEX MAP

THE SITE

OFFICE OF THE PLANNING DIVISION OF HEALTH MEDICAL PLANNING OFFICE SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER CITY	DESIGNER [Signature] SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER CITY	B. S. E. L. PROJECT / LOCATION PRO-VERTICAL EXPANSION AND REHABILITATION OF WEST WING (P-PAGE 1) SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER CITY	PREPARED BY [Signature] SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER CITY	CHECKED BY [Signature] SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER CITY	APPROVED BY THE AUTHORITY OF REGISTRATION OF ARCHITECTS [Signature] SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER CITY	SHEET NO. 1/21 PROJECT NO. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER 1. SOUTHERN ISLANDS MEDICAL CENTER CITY
---	---	--	--	---	---	--





添付資料－IX

表 1		既存建物別各階面積表 ( m <sup>2</sup> 、m )							
		地階	階高	1階	階高	2階	階高	3階	階高
主屋棟				584	4	584	4		
東ウイング		672	4	672	4	504	4	504	4
西ウイング		480	4	976	4	496	4	496	4
外科棟		336	4	920	4	720	4		
(手術室中央材料室含む)									
奥東ウイング		441	4	441	4	441	4		
奥西ウイング				434	4	434	4		
○	サービス施設棟	816	4	816	4				
(食堂厨房ランドリー他)									
回廊		234	4	324	4				
外来棟		252	3.5	252	3.5				
産婦人科棟		420	3.5						
子供生存センター		400	3.5	400	3.5				
伝染症科棟		448	3.5	448	3.5				
神経科		625	3.5	109	3.5				
○	施設管理棟	125	3.5						
ブレースショップ		165	3.5						
合計		5,414		6,176		3,179		1,000	
総計		15,766 m <sup>2</sup>							

( 平均地盤面より下にある階を地階と表示 )

添付資料-X

表2 VCMMS 1992-1996 5箇年改修拡張計画

	1992	1993	1994	1995	1996
--	------	------	------	------	------

1 奥東ウイング改修 第V,VI, VII, VIII, IX病棟 及び 神経科XI含む	2,700,000				
2 西ウイング端部増築*		15,000,000			
3 主屋の外壁、内壁の塗装		2,500,000			
4 施設内の道路および 排水用の側溝の整備		5,000,000			
5 外来棟増築		45,000,000			
6 第X病棟の完成		2,500,000			
7 受電施設の改修と拡張			2,500,000		
8 昇降機の設置			2,500,000		
9 雨水排水施設の整備			1,500,000		
10 酸化浄化槽および 固形・液体廃棄物用焼却炉			4,500,000		
11 給水システムの拡張			500,000		
12 看護婦寮の改修			2,000,000		
13 井戸の掘削 4番目			500,000		
14 井戸の掘削 5番目				800,000	
15 院内放送呼び出しシステムの設置				500,000	
16 遺体安置場の改修					4,500,000
17 食堂厨房の改修					1,200,000

\*西ウイング増築計画 (図 4、写真 21 参照)

(単位 ペソ)











JICA

